

5章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは 110
- 2 Outlook Express の使いかた 112
- 3 ペットにメールを運んでもらう 155
- 4 新着メールをランプで確認する 158

1

電子メールとは

1 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

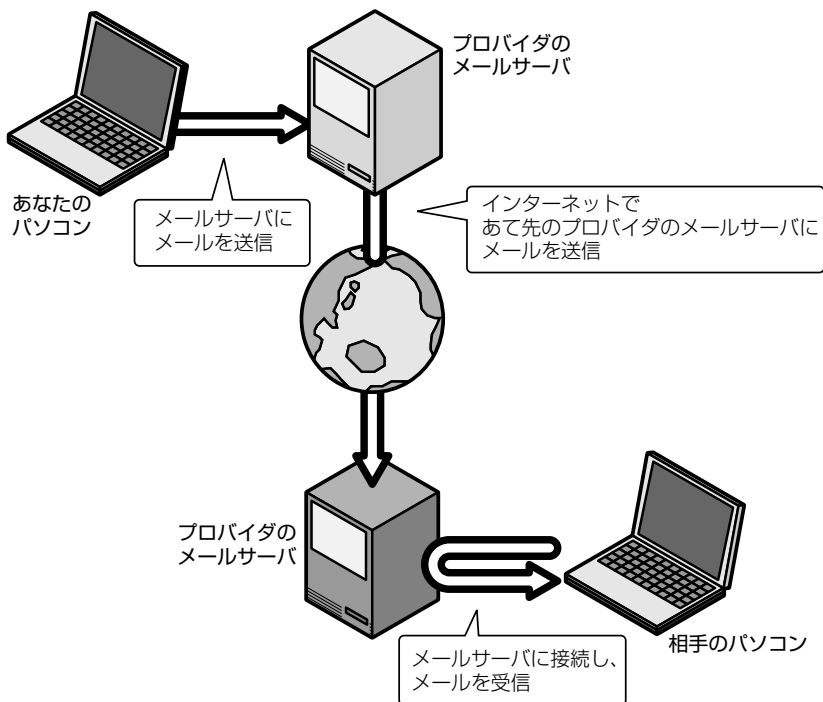
「Eメール（Electric Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

2 メールのおしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



- **メールサーバ** ● メール配信サービスを提供するコンピュータ。メールの配信では、送信のために利用される SMTP サーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つ POP3 サーバの2種類がある。



2


Outlook Express の使いかた

本製品にはメールソフト「Outlook Express」がプレインストールされています。

Outlook Express をご使用になる前にあらかじめプロバイダへの入会やメールの設定などを完了させてください。設定内容の詳細については、ご契約になったプロバイダにお問い合わせください。

1 起動する

Outlook Express を起動する方法を説明します。

- 1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン () をダブルクリックする

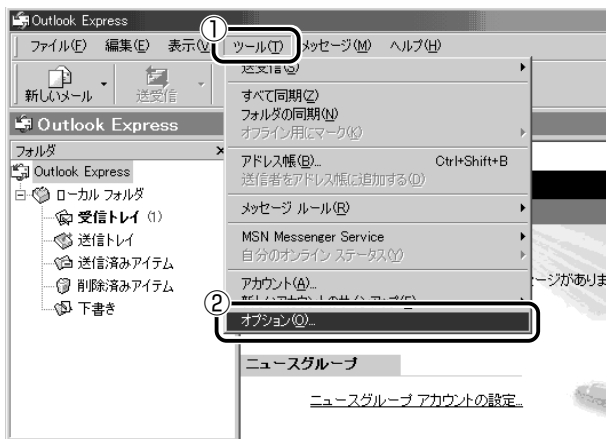


Outlook Express が起動します。

2 オプションの設定

Outlook Express をより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



[オプション] 画面が開きます。

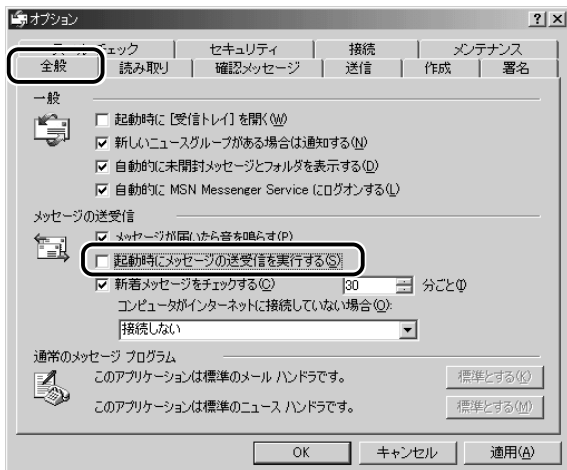
2 各タブで設定を行う

オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Outlook Express をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。

■ オプション 1 手動でメールのメッセージを受信する場合

[全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

メールの送受信を行うときだけメールサーバに接続する設定になります。[起動時にメッセージの送受信を実行する] をチェックしていると、Outlook Express を起動すると同時にインターネットに接続してしまいます。通常は Outlook Express を起動してから、都合のいいときに手動で送受信を実行したほうが便利です。

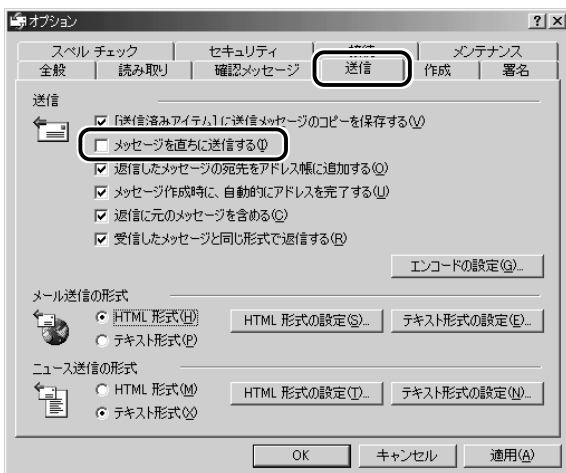


■ オプション2 数通のメールをまとめて送りたい場合


[送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

メールの送信をまとめて行う設定になります。

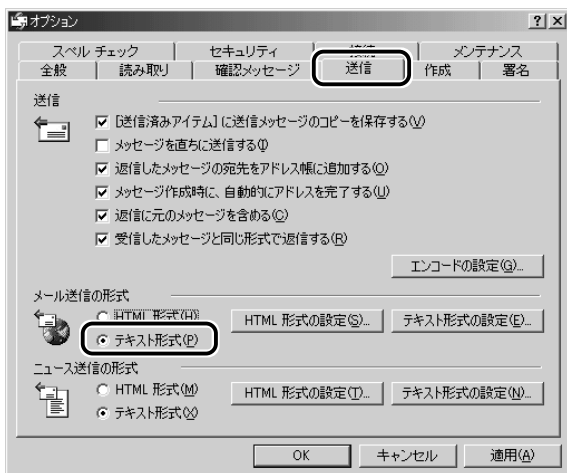
メールを1通書くたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



■ オプション3 メール形式を選択する場合

[送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック () する

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



- **テキスト形式** ● メール本文が文字だけで記述されていること。
- **HTML形式** ● メール本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。
- **文字化け** ● 文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

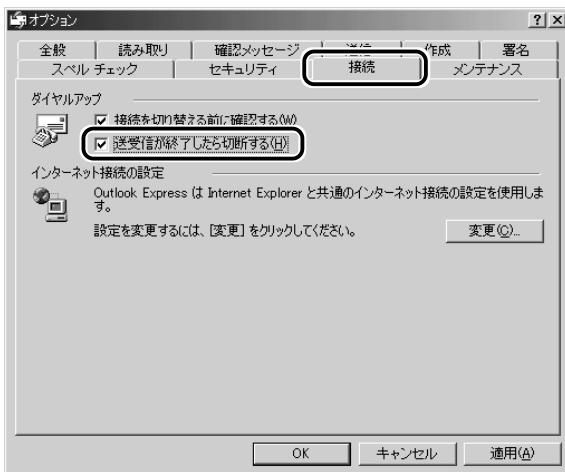
■ オプション4 インターネットへの接続を終了する場合

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック () する

送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。

接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておく便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、見終わったときに手で必ず接続を切ってください。



3 [OK] ボタンをクリックする











以上で基本的なオプションの設定は完了です。

3 Outlook Express画面

メニューバー
すべての操作はこのメニューから行えます。

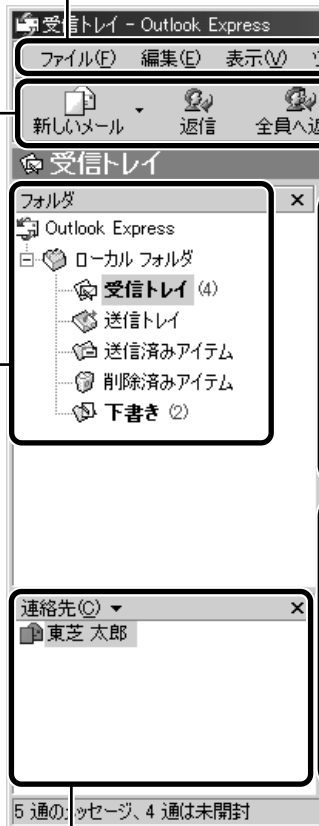
ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。
表示されるボタンは左画面の「フォルダ」で選択されている項目によって異なります。
よく使われるボタンの動きを説明します。

-  新しいメールを作成します。
➡「本節 4 メールを作成する」
-  メールを送ってきた相手にメールを返信します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  メールの内容を印刷します。
-  メールを削除します。
➡「本節 7 メールを削除する」
-  インターネットに接続し、メールの送受信を行います。
➡「本節 5 メールを送信する／受信する」
-  アドレス帳を開きます。
➡「本節 9 アドレス帳を使う」
-  メールを検索します。
➡「本節 10 メールを検索する」
-  表示する言語を切り替えることができます。
➡「本節 11- 表示する言語を切り替える」

メールの管理を行います。
「()」は未読または未送信のメール数です。

アドレス帳に登録されている連絡先の一覧が表示されます。



メールの情報が表示されます。
 メールの出発人、用件、受け取った時間など



インターネットへの接続状態を示します。
 「オンライン中」… 接続している状態です。

選択したメールの内容が表示されます。
 (プレビューウィンドウ)

4 メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。

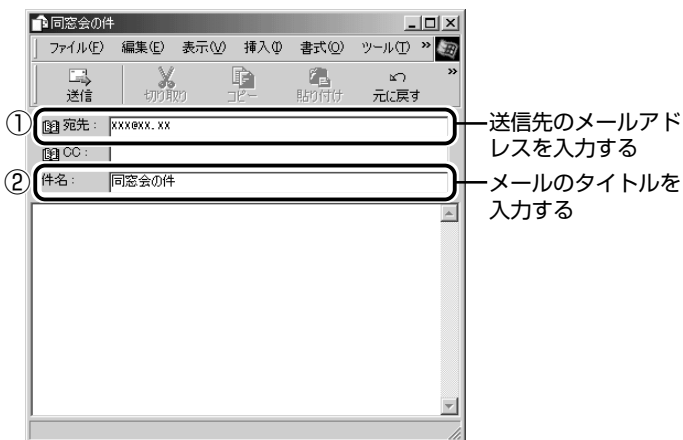
メールの作成が終わった後でインターネットへ接続しましょう。

- メモ** ● インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。

1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

2 [宛先] (送信先) ①と、[件名] (タイトル) ②を入力する



- メモ** ● メールアドレスは半角で入力してください。
● メールを複数の相手に送る場合は、「:」(セミコロン) で区切ってメールアドレスを入力します。
● 宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、[CC] にメールアドレスを入力します。
● 件名に半角カタカナを使用しないでください。

3 メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。


件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。

メールを書く場合のエチケットなどを「本節 11 知っておくと便利なこと」で紹介しています。

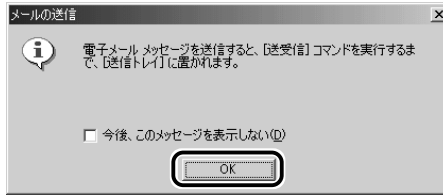
そちらを参考にしながら、本文を入力しましょう。



4 ツールバーの [送信] ボタン () をクリックする

-  ●宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認してください。
- [今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、この画面は表示されません。



5 [OK] ボタンをクリックする



このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。


メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 5 を繰り返し行ってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 参照  メールを送信する ⇨ 「本節 5 メールを送信する／受信する」

メールを書くのを一時的にやめる

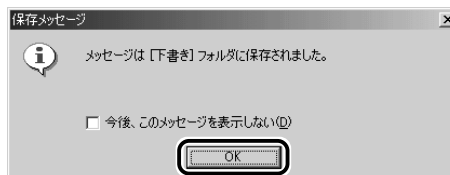
メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

1 メールを作成している画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

2 [はい] ボタンをクリックする



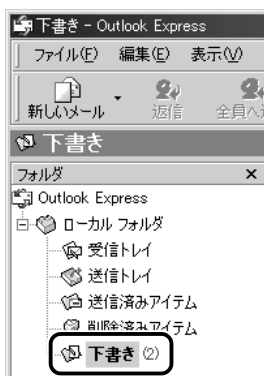
3 [OK] ボタンをクリックする



作成したメールは [下書き] フォルダに保存されます。

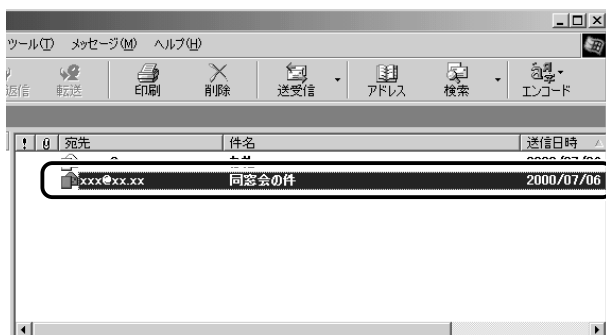
メールの続きを作成する

1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



右画面にメールの一覧が表示されます。

2 一覧から目的のメールをダブルクリックする




作成中のメール画面が開きます。

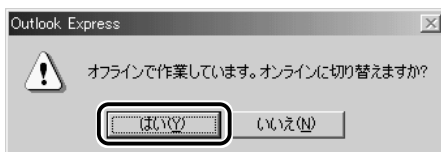
3 メールの続きを入力する



5 メールを送信する／受信する



送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。
送信する場合、[送信トレイ]に保存されているメールが送信されます。受信した場合、メールは[受信トレイ]に保存されます。
送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

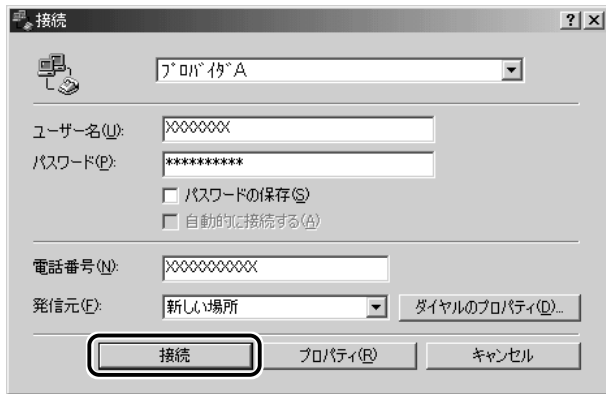
- 1 ツールバーの[送受信]ボタン () をクリックする
- 2 次のメッセージが表示された場合、[はい] ボタンをクリックする



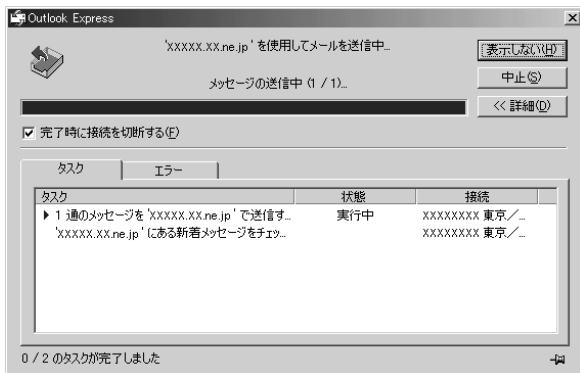
[接続] 画面が表示されます。

3 必要な内容を入力し、[接続] ボタンをクリックする

参照  詳細について  『まずはこれから インターネットに接続しよう』



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

[受信トレイ] のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

[送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。



..... 以前開いたメール（開封済み）



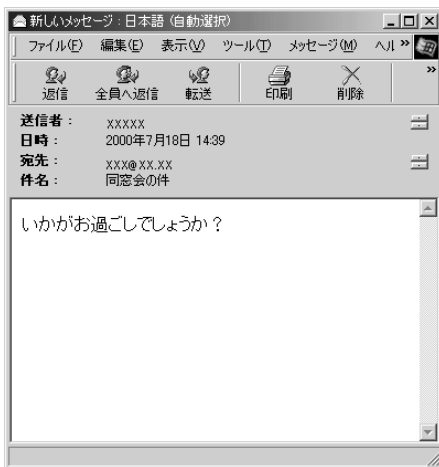
.... 読んでいないメール（未開封）



..... ファイルが添付されている

2 見たいメールをダブルクリックする

メールが開きます。



- メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- プレビューウィンドウを表示すると、メールを開かずに内容を読むことができます。
[表示] → [レイアウト] をクリックし、[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面で、[プレビューウィンドウを表示する] をチェックすると、プレビューウィンドウを表示できます。
- ファイルが添付されているメールには、[件名] の下に [添付] が追加され、添付ファイルの名称が表示されます。



添付ファイルの開きかたについて

⇒ 「本節 11- メールに添付されたファイルを開く」

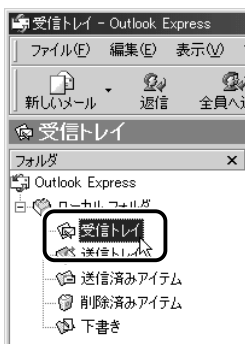
6 メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

返信する


1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする





右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ●メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から返信したいメールをクリックする

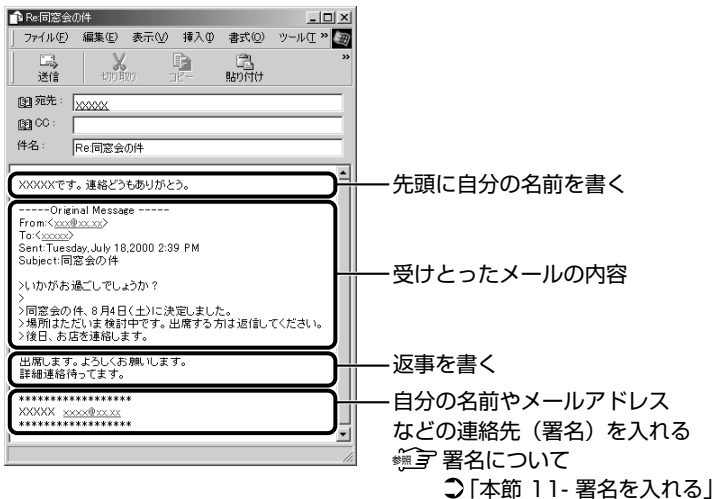
- 3 ツールバーの「返信」ボタン () をクリックする
メールの作成画面が表示されます。
[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます①。
[件名] には元のタイトルに「Re:」がついて表示されます②。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています③。



-  ● [全員へ返信] ボタン () をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。
- [Re:] は「Response: 返答、返事」の略です。

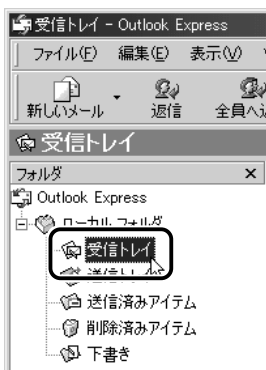
4 メール本文を入力する

メールを書く場合のエチケットなどを「本節 11 知っておくと便利なこと」で紹介しています。そちらも参考にしながら、本文を入力しましょう。以降は返信する際の一例です。



転送する


1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ●メールの整理などを行い、目的のメールが[受信トレイ]以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から転送したいメールをクリックする

- 3** ツールバーの[転送]ボタン()をクリックする
メールの作成画面が表示されます。

[件名]には元のタイトルに「Fw:」がついて表示されます①。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています②。




- メモ** ●「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。


4 [宛先]を入力する

5 メール本文を入力する

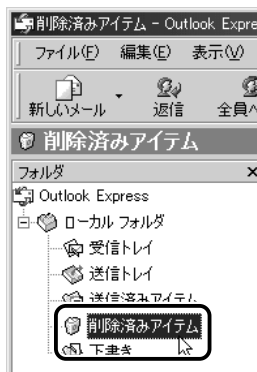
7 メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

- 1 [フォルダ] で削除したいメールが保存されている場所をクリックする
一覧が表示されます。
- 2 一覧から削除したいメールをクリックする
- 3 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする
選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[削除済みアイテム] に移動しています。

 ● 送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは [削除済みアイテム] に移動します。

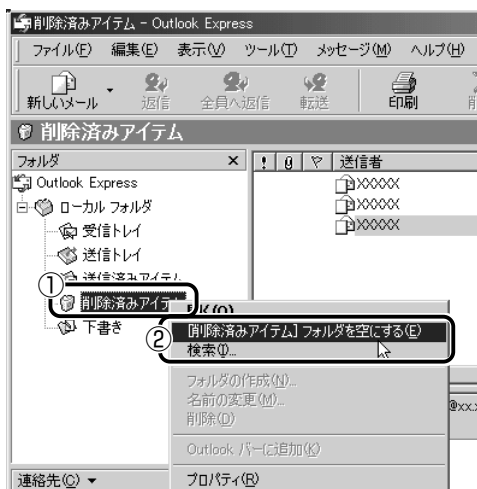
- 4 [フォルダ] の [削除済みアイテム] をクリックする
削除したメールの一覧が表示されます。



間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

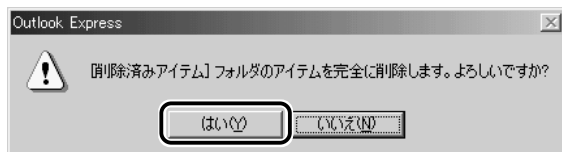


- 5 「削除済みアイテム」を右クリックし①、表示されたメニューから「[削除済みアイテム] フォルダを空にする」をクリックする②



確認のメッセージが表示されます。
ここで削除したメールはもう見るできません。削除する前によく確認してください。


6 [はい] ボタンをクリックする



[削除済みアイテム] にあるメールがすべて削除されます。

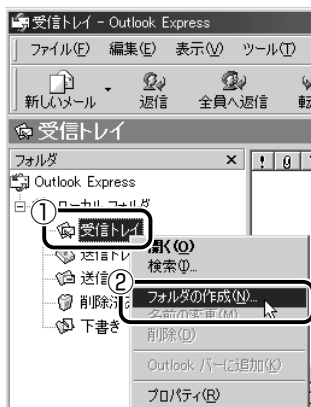
8 メールを整理する

受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。Outlook Express では、[受信トレイ] の他にフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、[受信トレイ] を常に整理しておくと、あとでメールを探すときに便利です。

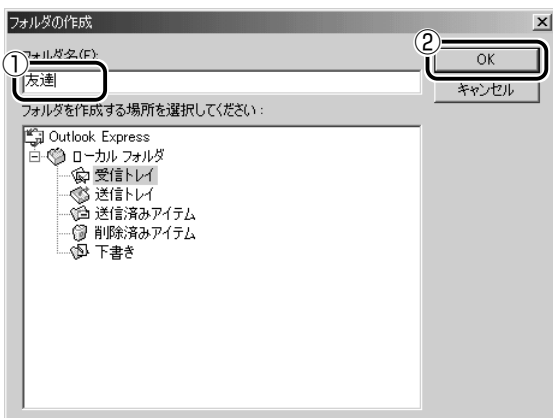
-  ● 標準設定では、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

メールを分類する

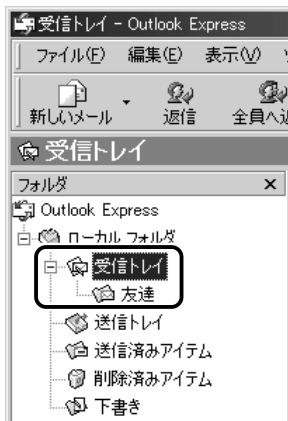
- 1 [フォルダ] の [受信トレイ] を右クリックし①、表示されたメニューから [フォルダの作成] をクリックする②



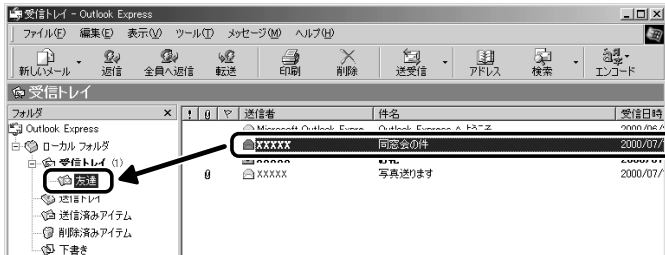
- 2 フォルダ名を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②
ここでは「友達」と入力します。



[受信トレイ] に、新しくフォルダが作成されました。



3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする



選択したメールが新しいフォルダに移動します。
複数のメールを指定するときは、(Ctrl)キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、(Shift)キーを押しながらクリックします。

4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



9 アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておく便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。


メールをくれた相手のアドレスを登録する

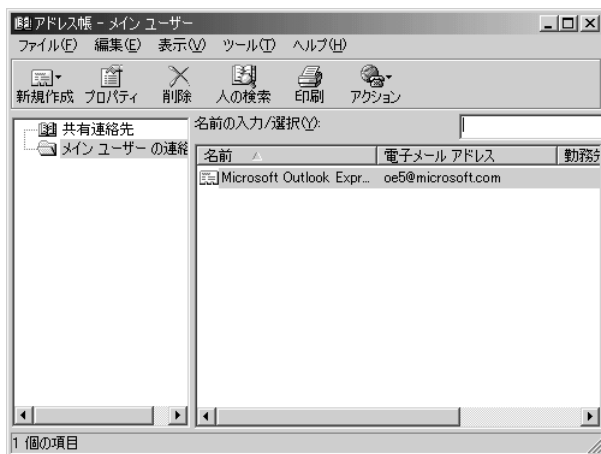
- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし①、表示されたメニューから「送信者をアドレス帳に追加する」をクリックする②




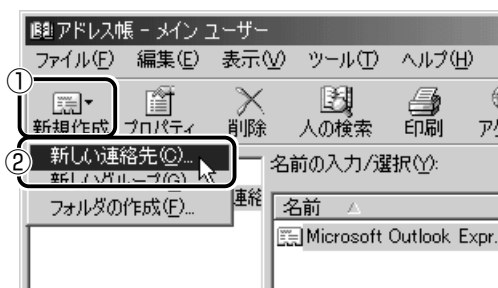
[アドレス帳] に登録されました。

新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
[アドレス帳] 画面が表示されます。



- 2 ツールバーの [新規作成] ボタン () をクリックし
①、表示されたメニューから [新しい連絡先] をクリック
する②



[のプロパティ] 画面が表示されます。

3 [名前] タブで [姓] [名] [表示名] [電子メールアドレス] を入力し①、[追加] ボタンをクリックする②

- 電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。
- [表示名] に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この [表示名] に追加することをおすすめします。


入力したメールアドレスは「標準の電子メール」として追加されます。

- [自宅] タブや [勤務先] タブ、[個人情報] タブなどでは、住所や電話番号、勤務先、家族構成などの情報も登録することができます。

- 4 プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする
アドレス帳に追加されました。



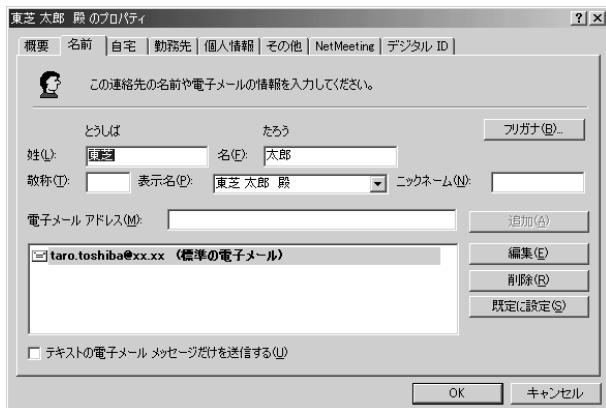
アドレス帳を修正する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
- 2 修正したい名前をダブルクリックする



[XXXXのプロパティ] 画面が表示されます。

3 [名前] タブで編集したい内容を変更する


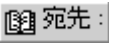


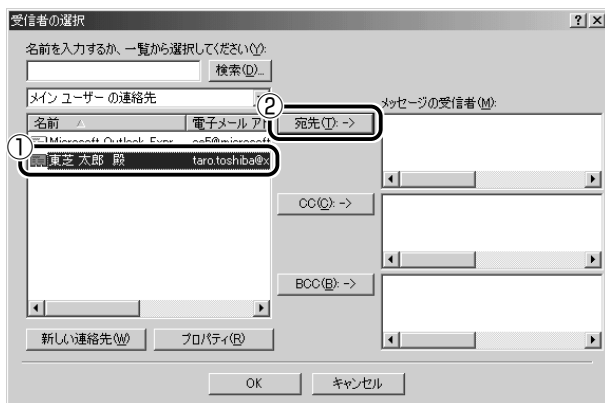
電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。



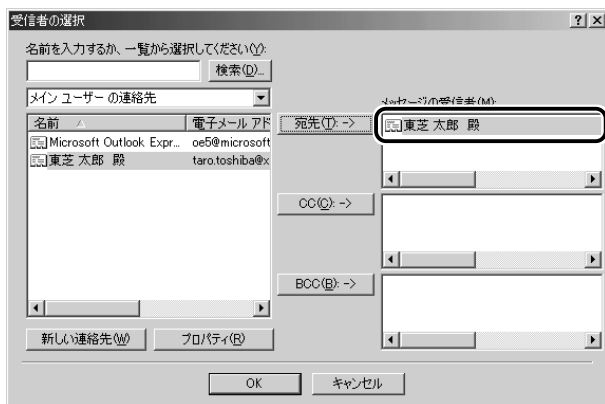
4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする [アドレス帳] 画面に戻ります。

アドレス帳を使って宛先を入力する

- 1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする
[メッセージの作成] 画面が表示されます。
- 2 [宛先] ボタン () をクリックする
- 3 送信したい相手をクリックし①、[宛先] ボタンをクリックする②



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。

- メモ ● 「写し」として送る場合は、「宛先」ボタンの代わりに、「CC」または「BCC」ボタンをクリックします。「CC」はCarbon Copyの略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」はBlind Carbon Copyの略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかりますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわかりません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。

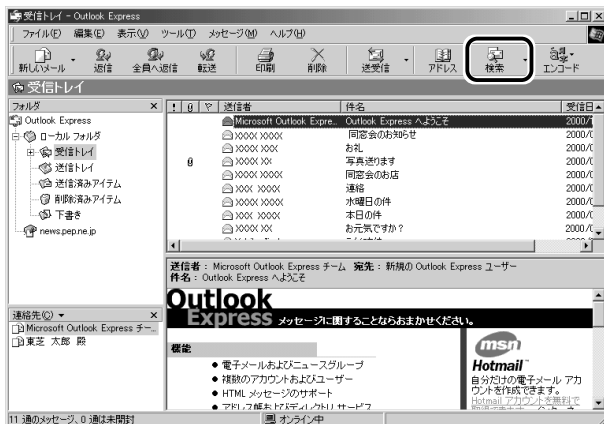


5 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

10 メールを検索する

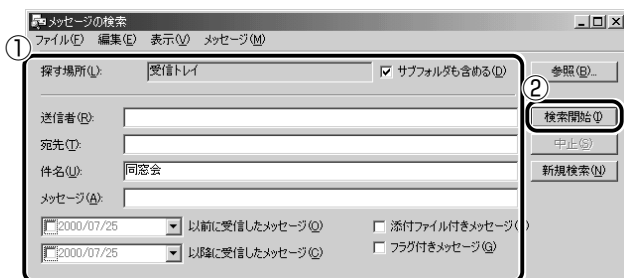
受信したメールや送信したメールなどを検索できます。

1 [検索] ボタン () をクリックする

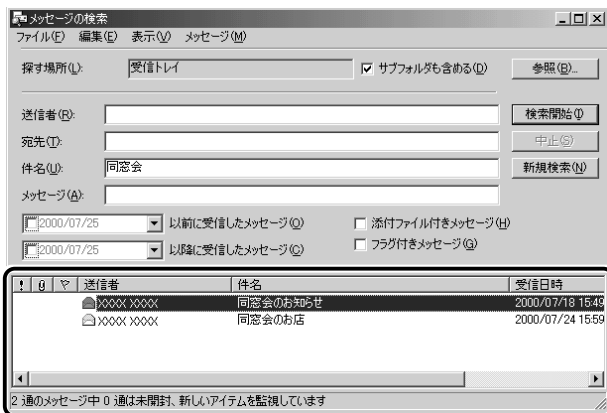


[メッセージの検索] 画面が表示されます。


2 [メッセージの検索] 画面で検索条件を入力し①、[検索開始] ボタンをクリックする②



検索結果が表示されます。



- メモ** ● 検索結果をダブルクリックすると、メッセージが開きます。


3 検索が終わったら、[閉じる] ボタン () をクリックする [メッセージの検索] 画面が閉じます。

11 知っておくと便利なこと

メールで使える文字

メッセージ作成中にパソコンの画面上で読める文字でも、メールで送ったときに相手のパソコンの画面では正しく表示されず、「文字化け」する文字があります。メッセージの本文や件名で使用する文字には気をつけましょう。

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸付き数字（①、②、③ など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ など） 罫線記号（ㄣ、ㄤ、ㄨ など） 音符記号（♪、♭ など） 論理記号（∩、∪、≡ など） 特殊文字（㊤、(株)、cm など） 旧字体、外字など

 ●相手のパソコンが日本語環境（AT 互換機）以外のコンピュータを使っている場合、全角文字が文字化けしてしまうことがあります。

署名を入れる

メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておく便利です。

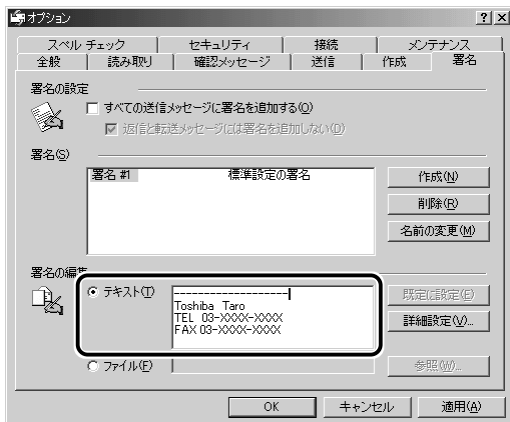
- 1 メニューバーの「ツール」をクリックし①、表示されたメニューから「オプション」をクリックする②



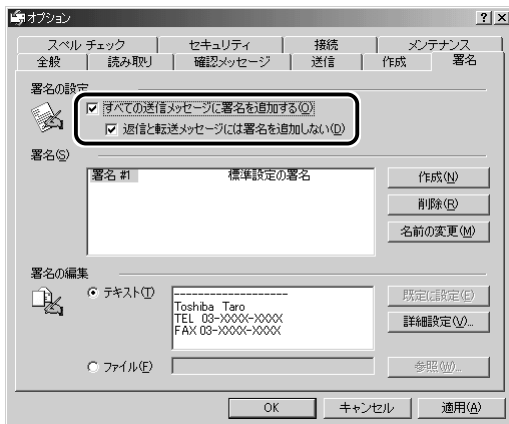
2 [署名] タブで [作成] ボタンをクリックする




3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



- 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] をチェックする
返信や転送するメールにも署名を追加する場合は、[返信と転送
メッセージには署名を追加しない] のチェックをはずしてください。



- 5 [OK] ボタンをクリックする

- 6 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする

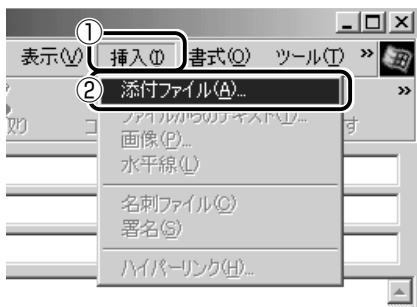
メール作成画面に署名が挿入されています。



メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

- 1 メールを作成する
- 2 メニューバーの [挿入] をクリックし①、表示されたメニューから [添付ファイル] をクリックする②



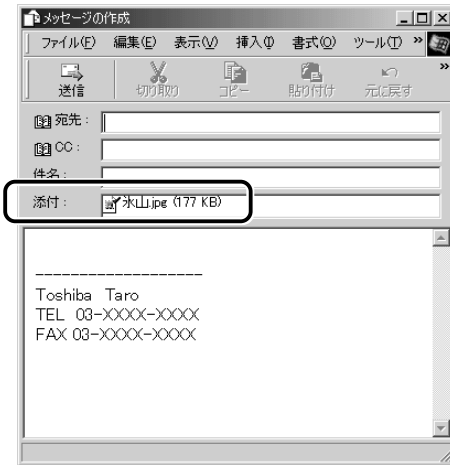
- 3 添付したいファイルを選択し①、[添付] ボタンをクリックする②

ここでは [My Pictures] に保存されている「冰山」というファイルを選択します。



[メッセージの作成] 画面に戻ります。

[件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返して行ってください。



- 受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。
- メールに添付するファイルは、できるだけファイルサイズを小さくしてください。サイズが大きいと、送信に時間がかかったり、エラーが発生することがあります。また、プロバイダによって扱えるメールのファイルサイズが異なりますので、サイズの大きいファイルは送信できない場合があります。複数のファイルを添付する場合は、ファイルサイズの合計に注意してください。

4 メールを送信する

メールに添付されたファイルを開く

■ ファイルを開くときの注意

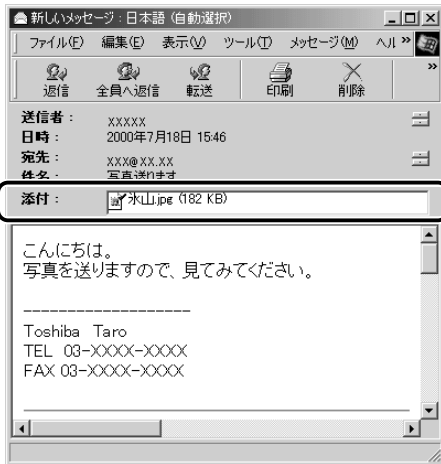
コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

■ ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

1 メールを開く

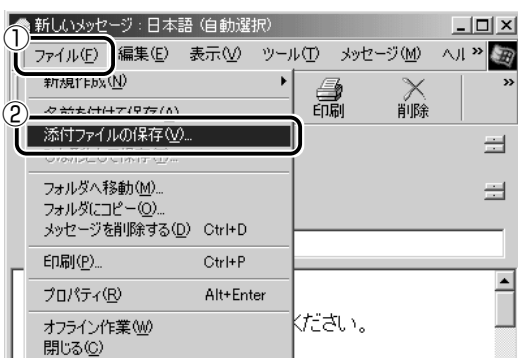
受信メールを開いたとき、[件名]の下に[添付]が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では[送信者]の横に[添付ファイル]アイコン(📎)が表示されています。



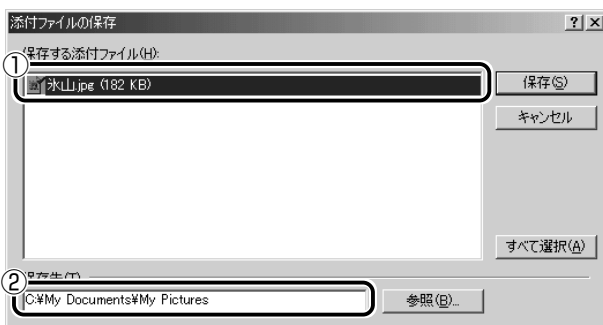
ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウィルスが含まれている場合があるためです。

ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。

- 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする②



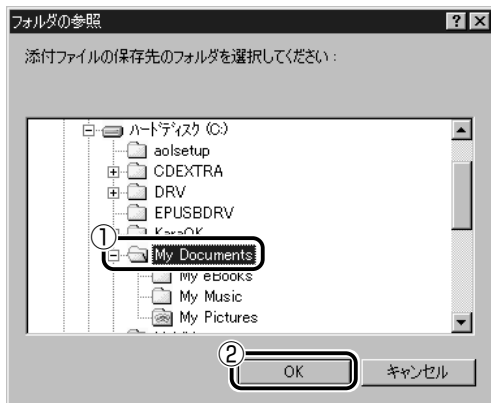
- 3 保存する添付ファイル①と、【保存先】②を選択する



表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、【参照】ボタンをクリックしてください。

保存先のフォルダを選択し①、[OK] ボタンをクリックしてください②。


ここでは [My Documents] フォルダに保存します。



4 【保存】 ボタンをクリックする

ファイルが保存されました。

安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。

 **ウイルスチェックソフト**

➔ 『こんなことができる 5章 1 ウィルスチェックをする』

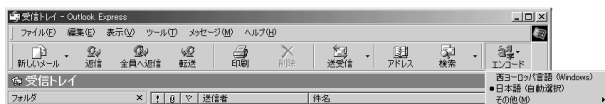
5 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする

表示する言語を切り替える

表示する言語を切り替えることができます。

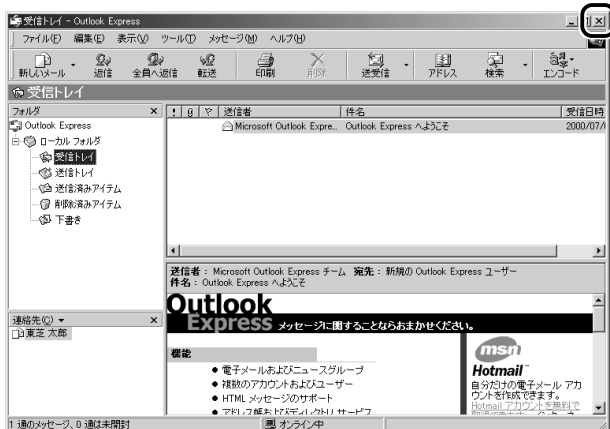
選択した言語を表示するには、対応するシステムが必要な場合があります。

1 ツールバーの [エンコード] ボタン () をクリックし、表示したい言語をクリックする

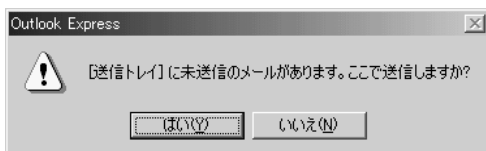



12 終了する

1 Outlook Express 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする



送信トレイに送信していないメールがある場合、送信を確認するメッセージが表示されます。



送信してから終了する場合は、[はい] ボタン、送信しないで終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。タスクバーの [接続中] アイコン () が消えていれば、接続は終了しています。

3

ペットにメールを運んでもらう

ポストペット

本製品にはメールソフト「PostPet」がプレインストールされています。プロバイダによっては、PostPet を使えない場合があります。契約するプロバイダが対応しているかどうか、ご確認ください。ポストペットは、かわいいペットが電子メールを運ぶメールソフトです。あなたやあなたのお友だちあてにメールを書いたり、宝物を拾ってきたりします。おやつやおもちゃをあげたり、ときどき洗ってあげたりして、ペットとの暮らしを楽しんでください。

- 1 [スタート] → [プログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windows] をクリックする
初めて使うときは設定画面が表示されます。
- 2 必要な内容を入力し①、[次に進む] ボタンをクリックする②
入力する内容については、各プロバイダにご確認ください。
また『PostPet のヘルプ』もご覧ください。

PostPet for Windows ver. 2.0 Setup1

PostPet™ セットアップ

はじめに、ネットワークの設定をします。以下の各項目を入力したあと、
[次に進む]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、この作
業を中断します。

① 基本設定(最低限必要な設定)

(例)は、So-netの場合の設定例です

SMTPサーバー:
(例) mail.△△△.so-net.ne.jp

POPアカウント:
(例) ○○○@pop.△△△.so-net.ne.jp

電子メールアドレス:
(例) ○○○@△△△.so-net.ne.jp

名前:

パスワード:

パスワードの保存

サーバーにあるメールを
 残す 削除

キャンセル ②



ヘルプの起動方法 → 「本節 - ヘルプの起動方法」

3 ペットを選ぶ

ここでは「テディベア」を例に説明します。

- ①ペットを選び、絵の上でクリックする
ポインタを絵の上にあわせると、
【特徴】に説明が表示されます。

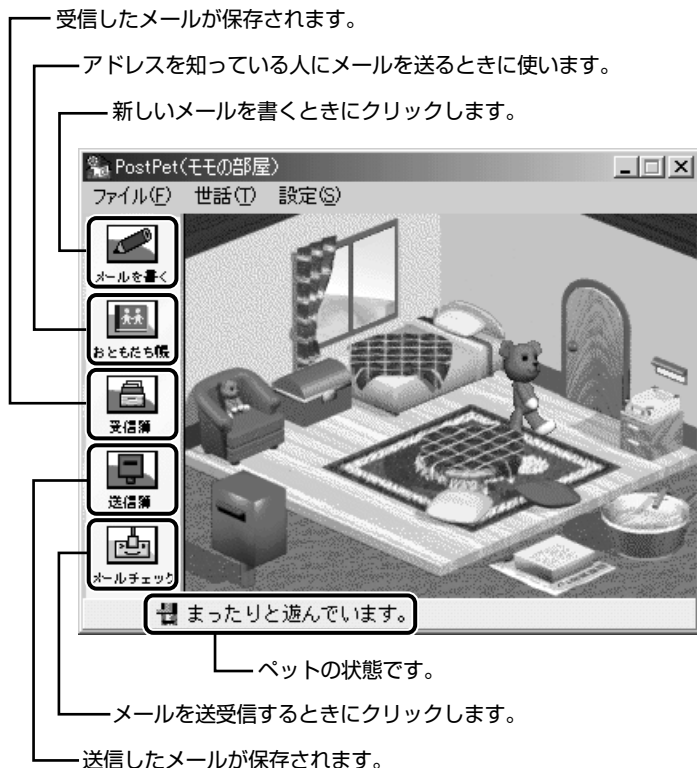


- ②ペットや飼い主について入力する

- ③入力がすべて終わったら
クリックする

ペットを変更したい
ときにクリックする

[ペットの部屋] 画面が表示されます。



詳しい使いかたは『PostPetのヘルプ』をご覧ください。

ヘルプの起動方法

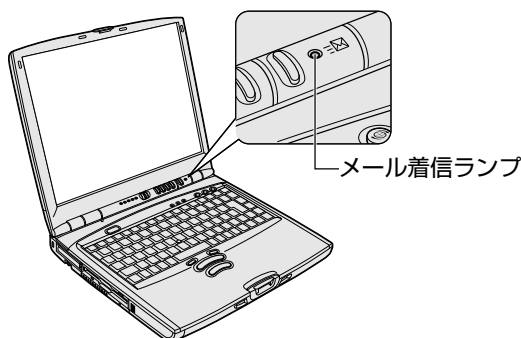
- 1 [スタート] → [プログラム] → [PostPet for Windows]
→ [PostPet for Windowsの使い方] をクリックする

4

新着メールをランプで確認する

メールソフトを起動しなくても、設定した日時に自動的に Windows を起動して新着メールが届いているかどうかチェックできます。これを新着メールチェック機能といいます。

新着メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。



新着メールチェック機能を使用するには、あらかじめ設定が必要です。本節をよくお読みのうえご使用ください。

- メモ** ● 新着メールチェックを行うには、電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。

■ 新着メールチェック機能を使用できる状態

新着メールチェック機能を使用するときは、必ず AC アダプタを使用し、本製品と電話回線をモジュラーケーブルで接続してください。新着メールチェック機能はパソコンが次の状態のときに使用できます。

- ・ 電源が入っているとき
- ・ スタンバイ機能を実行しているとき
- ・ 休止状態のとき

スタンバイ機能を実行中や休止状態にしているときは、設定した時間にパソコンが自動的に起動し、新着メールをチェックします。

新着メールチェック機能は、メールソフトの設定が完了している場合に使用できます。設定内容の詳細については、ご契約になったプロバイダにお問い合わせください。

1 新着メールチェックの設定をする


[メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メールチェック機能を開始する)

メールソフト、「メール着信ユーティリティ」、「LaLaVoice メール」を連動させることで新着メールチェックができます。

「メール着信ユーティリティ」の設定に従って、メールソフトと「LaLaVoice メール」が自動的に起動します。

「メール着信ユーティリティ」は次の手順で起動します。

1 [コントロールパネル] を開く

 詳細について [「2章 7- コントロールパネルの開きかた」](#)

2 [新着メールチェックのスケジュール設定] アイコン () をダブルクリックする

この操作を初めて行なった場合、「タスクを作成します」画面が表示されます。表示される内容を確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

3 [基本設定] タブで [実行する (指定された時刻に新着メールのチェックを行う)] をチェックする ()

4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

5 [基本設定] タブで [コンピュータ起動時に常駐する] をチェックする ()


チェックしておくともパソコン起動時に自動的に [メール] アイコン () がタスクバーに表示され、新着メールチェック機能が開始できるので便利です。必ずチェックしておく必要はありませんが、チェックしておくことをおすすめします。

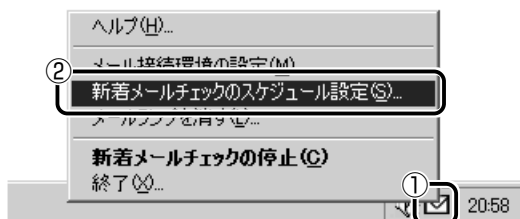
6 [OK] ボタンをクリックする

タスクバーに [メール] アイコン () が表示されます。続けて新着メールチェックのスケジュールを設定してください。

新着メールチェックのスケジュールを設定する



新着メールチェックを開始する日や時間を設定します。

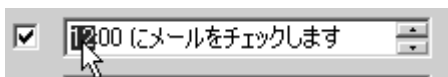
- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし
①、表示されたメニューから [新着メールチェックのスケジュール設定] をクリックする②



- 2 [基本設定] タブで [スケジュール] を設定する



- ① **【開始日】** でチェックを開始する日を設定する
 ボタンを押すとカレンダーが表示されますので、開始したい日をクリックしてください。
- ② **【継続日数】** でチェックを続ける期間を設定する
最大 30 日まで設定できます。
- ③ **【何時に新着メールチェックを行うか】** 設定する
1 日に最大 3 回まで設定できます。チェックしたい回数だけチェックボックスをチェックします ()。
画面は 12:00 に 1 回だけチェックする場合です。
時間を設定するには、設定したい [時間] [分] にマウスポインタをあわせてクリックします。数字が反転表示しますので、 ボタンで設定します。



- 3 **【詳細設定】** タブで **【タスクの実行時にスリープを解除する】** をチェックする
スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときに新着メールチェック機能を使用するときにチェックします。
- 4 **【OK】** ボタンをクリックする


新着メールチェックの接続環境を設定する

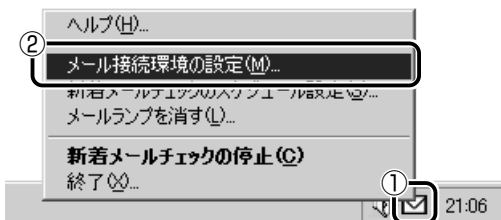
初めて新着メールチェック機能を使用するときは、メールソフトの接続環境を設定します。「新着メール数だけを確認する」または「新着メール数とメール内容を確認する」のいずれかを設定してください。MAPI対応以外のメールソフト（PostPetなど）をご使用になる場合は、「新着メール数を確認する」に設定してください。

MAPI対応メールソフト： Outlook Express、Microsoft Outlook、Microsoft Exchange など

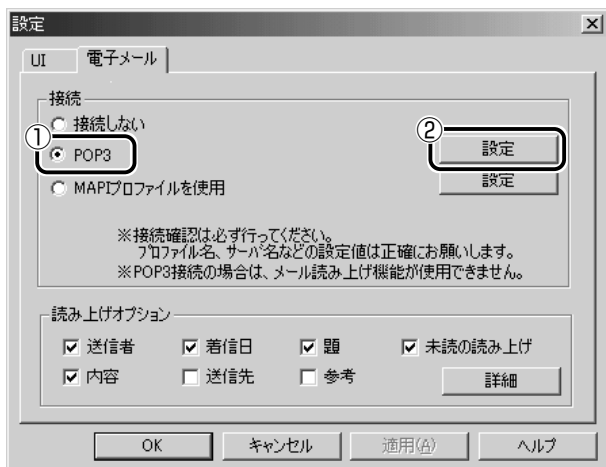
■ 新着メール数だけを確認する

新着メール数だけを知りたいときに設定します。メールの内容を確認することはできません。メールの内容を確認するには、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。

- 1 タスバーの [メール] アイコン () を右クリックし
①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] を
クリックする②



- 2 [電子メール] タブの [接続] で [POP3] をチェックし①、
[設定] ボタンをクリックする②
[POP3] に設定した場合、読み上げ機能は使用できません。



3 必要な項目を入力する

プロバイダから指定されている [サーバ名] [ユーザ名] [パスワード] を入力してください。



4 [OK] ボタンをクリックする

- 5 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する
[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。
音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。



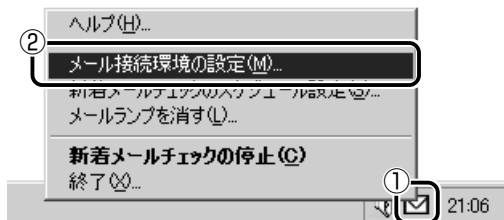
- 6 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

■ 新着メール数とメールの内容を確認する

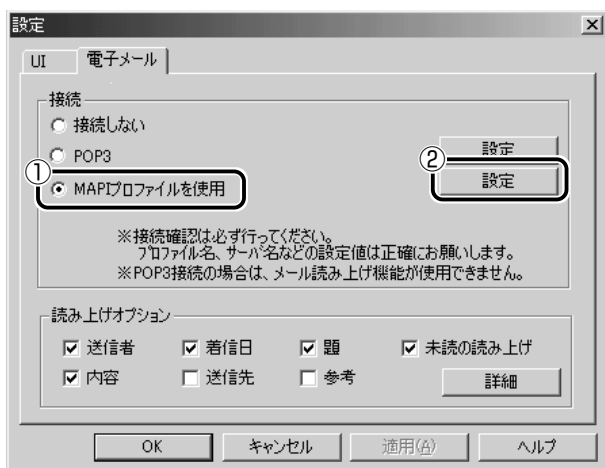
新着メール数とメールの内容を知りたいときに設定します。

MAPI 対応メールソフトをご使用の場合に使用できます。MAPI 対応以外のメールソフトをご使用の場合、メールの内容は確認できません。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン (☑) を右クリックし
①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] を
クリックする②

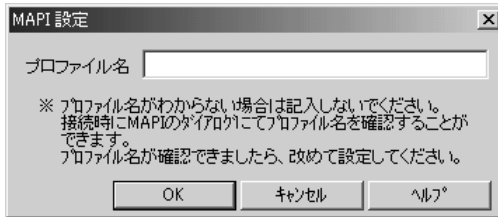


- 2 [電子メール] タブの [接続] で [MAPIプロファイルを使用] をチェックし①、[設定] ボタンをクリックする②




3 [プロファイル名] を入力する

メールサーバがExchange サーバの場合に [プロファイル名] を入力してください。



4 [OK] ボタンをクリックする

5 使用するメールソフトを設定する

- ① デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ② [プログラム] タブの [電子メール] で使用するメールソフトを選択する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

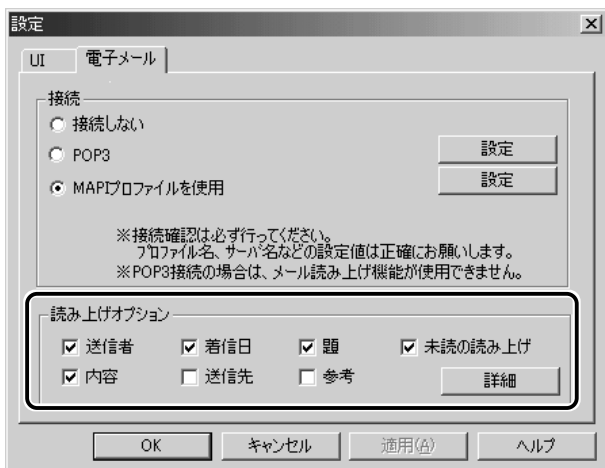
6 MAPI 対応メールソフトで自動切断の設定をする

自動切断の設定をしていないと、新着メールチェックを行なった後、インターネットへの接続が切断されません。ここでは、Outlook Express の場合について説明します。

- ① Outlook Express を起動する
- ② メニューバーの [ツール] をクリックし、表示されたメニューから [オプション] をクリックする
- ③ [接続] タブで [ダイヤルアップ] の [送受信が終了したら切断する] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ Outlook Express を終了する

7 [読み上げオプション] の設定をする

新着メールを開いたときに、チェックされている項目について音声で読み上げます。



8 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。


音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。




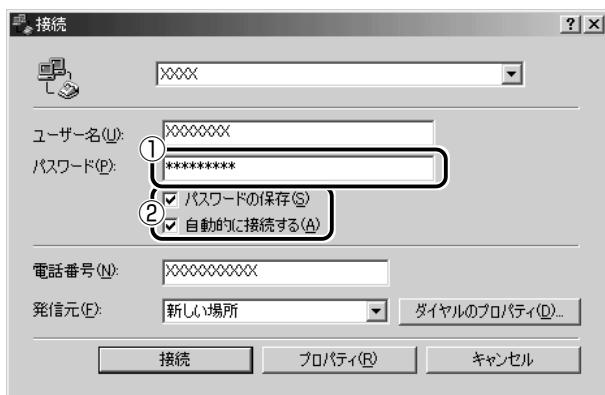
9 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

インターネットへの接続の設定

1 ACアダプタとモジュラーケーブルを接続する

参照  電話回線への接続 ▷ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

- 2 [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 3 [XX (接続先)] アイコン () をダブルクリックする
- 4 [接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力し①、
[パスワードの保存] と [自動的に接続する] をチェックする② ()



5 [接続] ボタンをクリックする

すぐに接続する必要がなくても、いちど [接続] ボタンをクリックして、設定を保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると設定は保存されません。

[XX (接続先) に接続中] 画面が表示されます。

- 6 この時点でインターネットへ接続する必要がない場合、
[キャンセル] ボタンをクリックする



[キャンセル] ボタンをクリックしない場合、インターネットに接続します。

- 7 [接続] 画面を閉じる

パソコンを起動せずに新着メールチェックをする

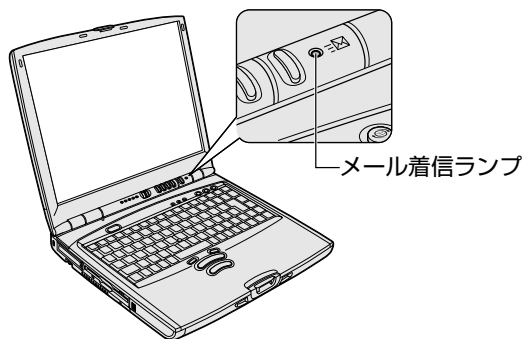
パソコンが起動していないときに、新着メールチェック機能を使うには、スタンバイを実行するか、休止状態にしてください。

 スタンバイの実行、休止状態について

⇒ 『もっとステップアップ 1章 3 パソコンの使用を中断する』

2 新着メールを確認する

設定したスケジュールに従って、新着メールチェックが行われます。
新着メールがあると、メール着信ランプが緑点灯します。

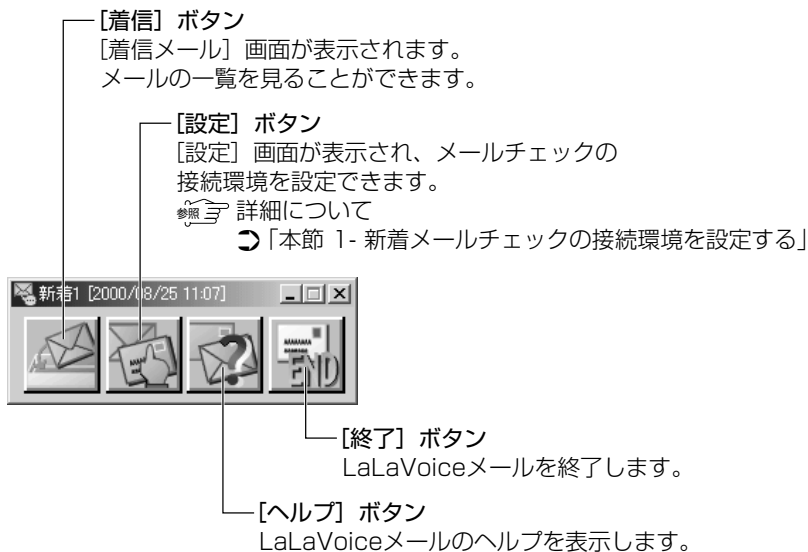


パソコンの電源が入っていると、[新着] 画面が表示されます。
新着メール数を音声で知らせるように設定している場合は、新着メール数が読み上げられます。



新着メール数を音声で知らせる

☞ 「本節 1- 新着メールチェックの接続環境を設定する」




「新着メール数だけを確認する」「新着メール数とメールの内容を確認する」
のどちらに設定しているかによって、この後の操作が異なります。

「新着メール数だけを確認する」に設定したとき


[新着] 画面のタイトルバーに新着メール数が表示されます。



新着メール数を確認したら、[終了] ボタン () をクリックし、[新着] 画面を閉じます。

メールの内容を見たい場合は、メールソフトを起動して送受信を行なってください。

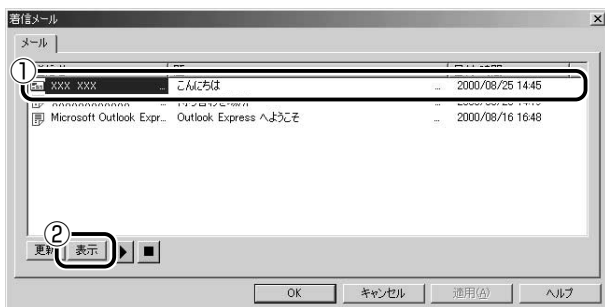
「新着メール数とメールの内容を確認する」に設定したとき

- 1 新着メールの内容をみたいときは [着信] ボタン () をクリックする



[着信メール] 画面が表示されます。

読み上げ機能を設定しているときは、メールの内容が読み上げられます。

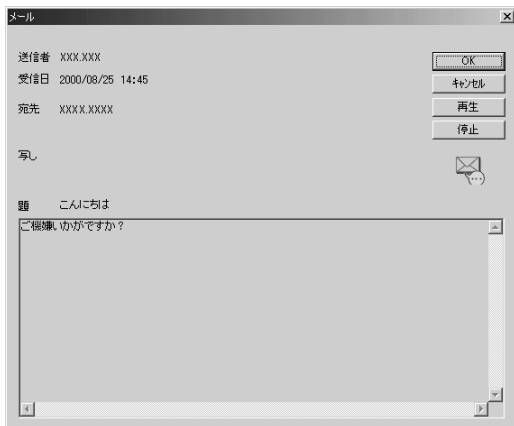
- 2 [着信メール] 画面で内容を確認したいメールをクリックし
 - ①、[表示] ボタンをクリックする②



[送信者] の横にあるマークは次のような意味があります。

-  以前開いたメール (開封済み)
-  読んでいないメール (未開封)

メールの内容が表示されます。



内容を確認したら、[OK] ボタンをクリックして閉じます。



- メールの内容の確認は、MAPI 対応のメールソフトからも行えます。メールソフトを起動すると、新着メールが表示されます。
- [着信メール] 画面とメールソフトでの操作は連動しており、どちらか一方でメールを開封済みにすれば、もう片方も開封済みになります。

3 メールの確認が終わったら、[着信メール] 画面で [OK] ボタンをクリックする

すべてのメールの内容を確認すると、メール着信ランプが消灯します。未読のメールがあると、メール着信ランプは消灯しません。




- メール着信ランプを消す方法について
☞ 「本節 2- メール着信ランプを消す」

4 [新着] 画面で [終了] ボタン () をクリックする



■ メール着信ランプを消す

メールソフトを起動してメールの内容を確認した場合、新着メールをすべて既読にしてもメール着信ランプは消えません。この場合、次の方法でメール着信ランプを消してください。



- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [メールランプを消す] をクリックする
メール着信ランプが消えます。

3 新着メールチェックを停止する


新着メールチェック機能を一時停止する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの停止] をクリックする
アイコンが () に変わり、新着メールチェック機能を一時的に停止します。

新着メールチェック機能を再開する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの開始] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンが () に変わり、設定したスケジュールに従って新着メールチェックを再開します。

新着メールチェック機能を終了する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [終了] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンの表示が消えます。
この操作を行なったあと、再び新着メールチェック機能を使用したいときは、「本節 1 - [メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メールチェック機能を開始する)」をご覧ください。

6章 本体の機能を知ろう

1	パソコンのしくみ	176
2	各部の名前	178
3	システムインジケータ	183
4	ディスプレイ	184
5	ハードディスクドライブ	185
6	サウンド機能	187
7	フロッピーディスク	192
8	CD / DVD	199
9	内蔵モデム	206
10	セキュリティロック	209

1

パソコンのしくみ

1 ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア (Hardware) とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

2 ソフトウェアとは

ソフトウェア (Software) とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは、ハードウェアであるパソコンに組み込んで (インストールして) はじめて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を発揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

OS (オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。

本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初に Windows のセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windows が起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。Windows では、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にポインタやアイコンが表示されます。

アプリケーション


アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。

アプリケーションは OS のセットアップが終了した後、OS の上で起動して使います。

本製品には、いろいろなアプリケーションがインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

新たに購入するときは Windows Me 対応のアプリケーションをご購入ください。

購入したアプリケーションを初めて使うときは、パソコンへインストールする作業が必要です。1 度インストールすれば、2 回目以降はすぐに使えます。

 本製品に入っているアプリケーション、インストールについて
⇒ 『こんなことができる』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形で保存します。Windows では、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

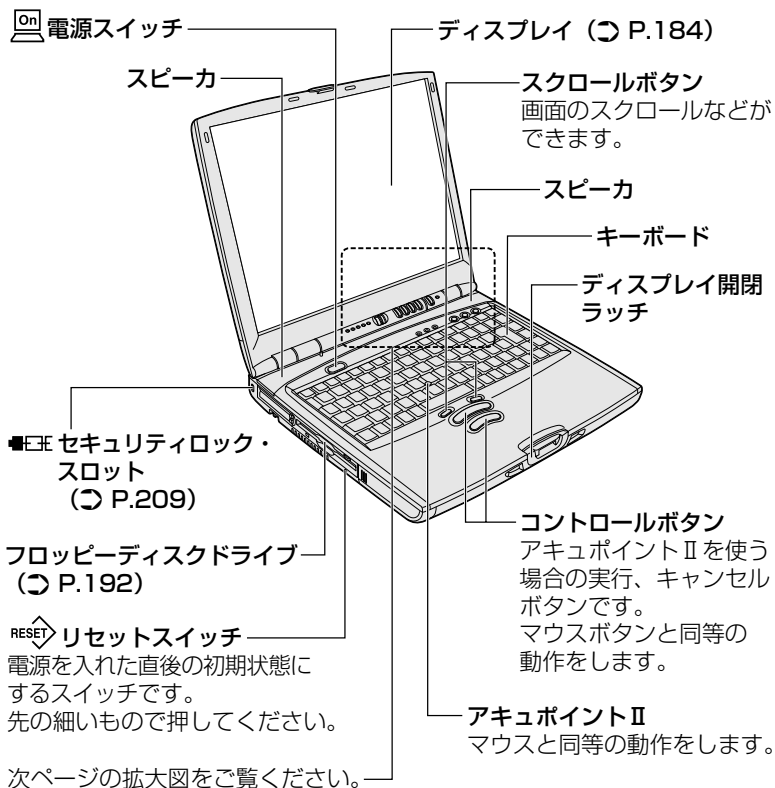
その他にも、OS 上でハードウェアを動かすためのソフトウェア（ドライバ）や、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア（ユーティリティ）など、様々な種類のソフトウェアがあります。

2

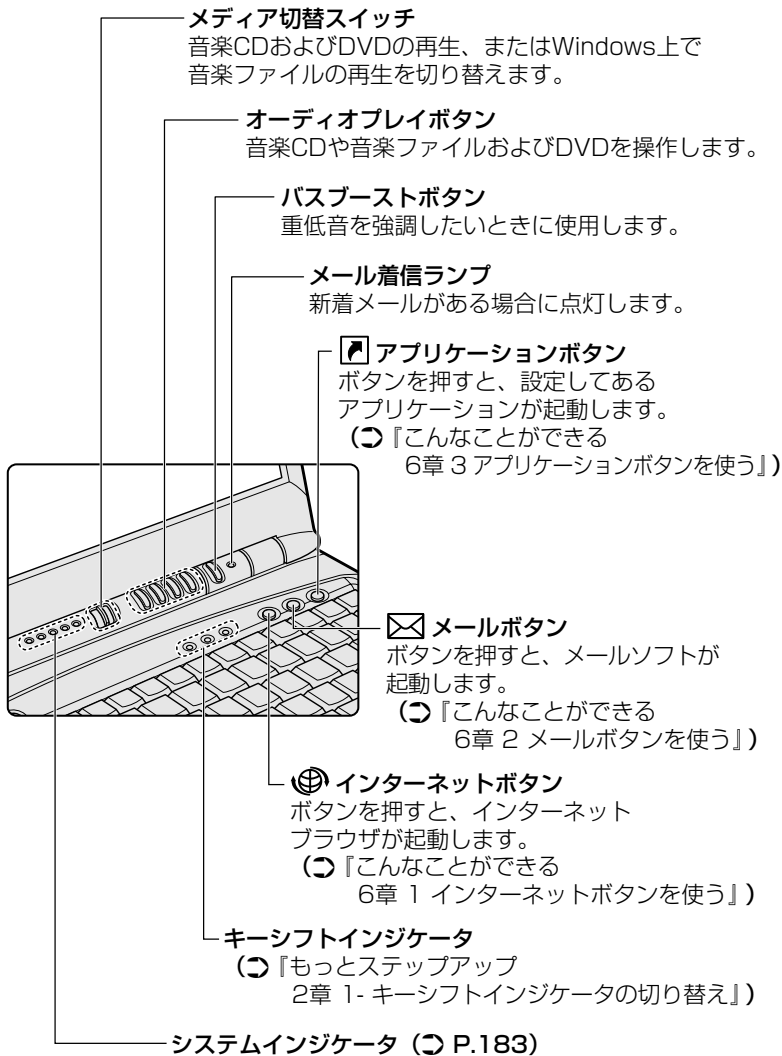
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明については、各参照ページをご覧ください。

前面図

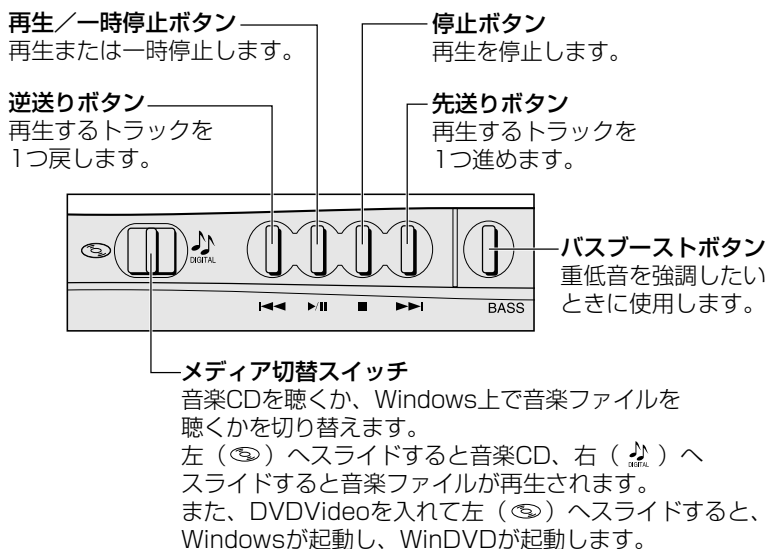


【拡大図】

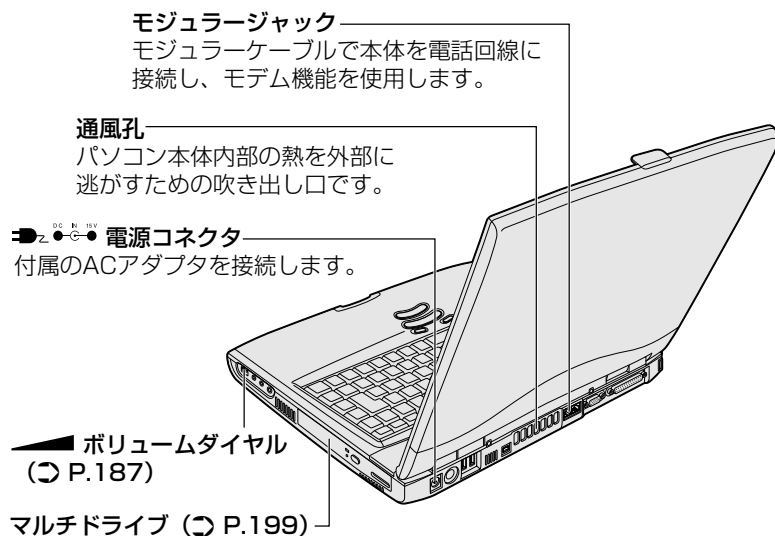


【メディア切替スイッチとオーディオプレイボタン】

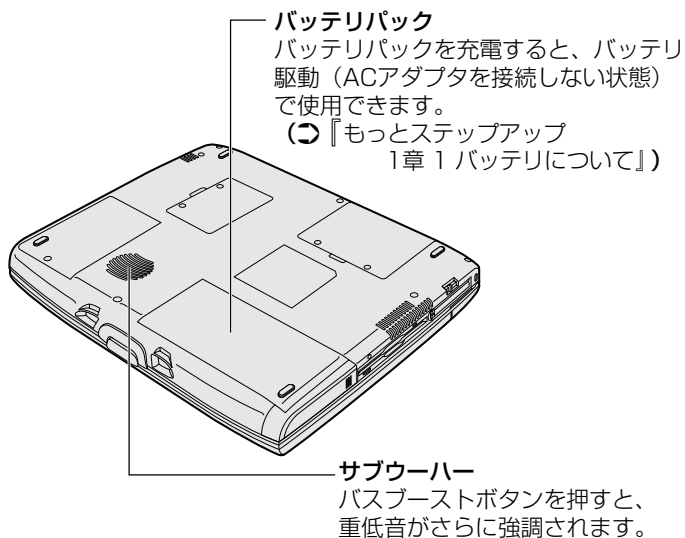
詳細については『こんなことができる 1 章 音楽を楽しもう』をご覧ください。



背面図



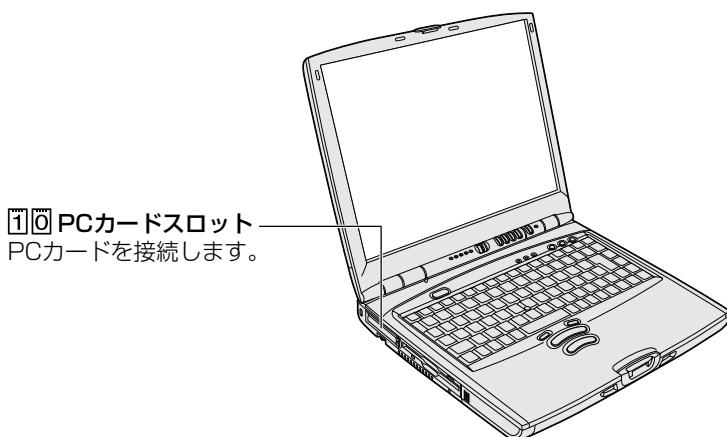
裏面図



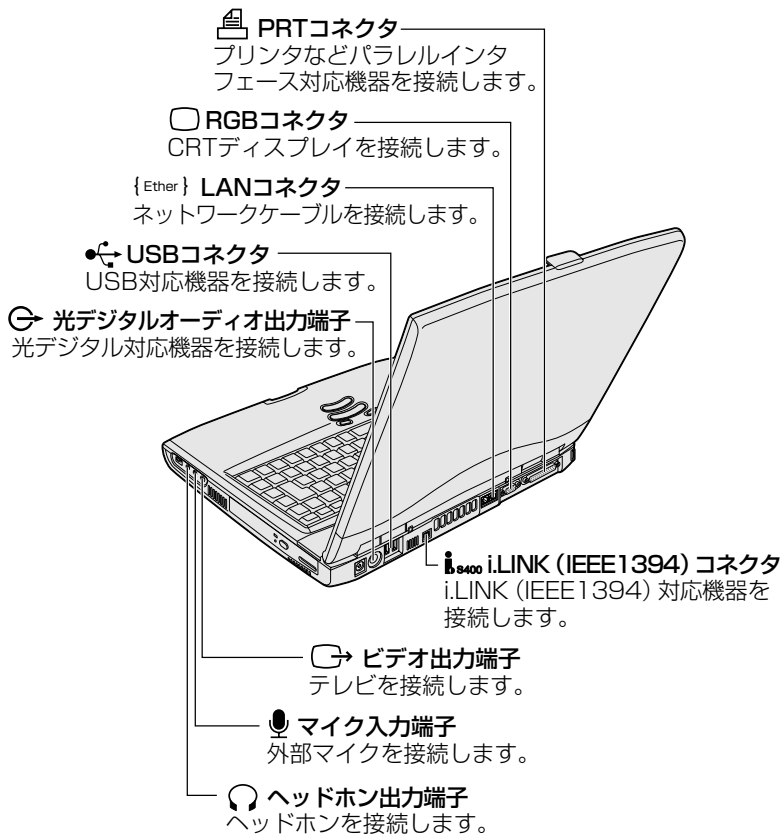
周辺機器の接続場所

次の場所には、周辺機器が接続できます。詳しい説明は、『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』をご覧ください。

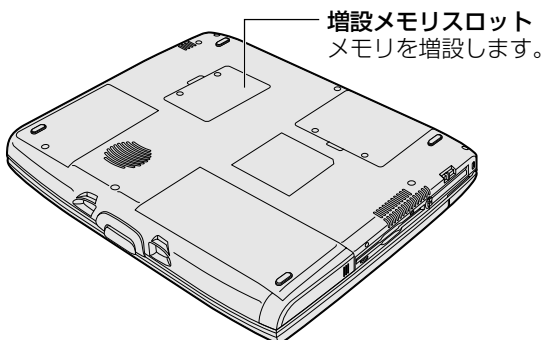
【前面図】



【背面図】



【裏面図】



3

システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。インジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



	DC IN LED	電源コードの接続 ☞『まずはこれから 電源を入れる』
	Power LED	電源の状態 ☞『まずはこれから 電源を入れる』
	Battery LED	バッテリーの状態 ☞『もっとステップアップ 1章 1 バッテリーについて』
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている ☞「本章 5 ハードディスクドライブ」
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスクドライブ、マルチドライブにアクセスしている ☞「本章 7 フロッピーディスク」 ☞「本章 8 CD/DVD」 マルチドライブの電源が入っている

4

ディスプレイ

ディスプレイは、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。本製品では表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1400 × 1050 ドット）が内蔵されています。ドットは点の数を表します。

表示装置には、液晶ディスプレイの他に、テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示する CRT ディスプレイもあります。

本製品は、CRT ディスプレイを接続して使用することもできます。



CRT ディスプレイの接続

▷ 『もっとステップアップ 3 章 10 CRT ディスプレイを接続する』

ディスプレイの表示方法や、デスクトップのデザインを変更することもできます。



詳細について

▷ 『もっとステップアップ 2 章 2 ディスプレイの表示について』

■ 表示について

- TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

5


ハードディスクドライブ

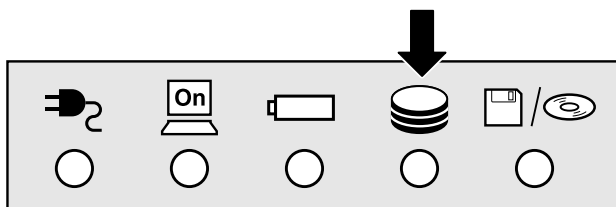
ハードディスクドライブとは、データを磁気で記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。フロッピーディスクやCD-R、CD-RW と比べて容量が大きいためたくさんのデータを記憶できます。





本製品にはハードディスクドライブが内蔵されています。取りはずしはできません。

必要があれば、PC カードタイプ（TYPE II または TYPE III）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすこともできます。

ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LED が点灯します。



-  ● Disk  LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
-  ● PC カードタイプや i.LINK（IEEE1394）対応機器などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk  LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。



- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-R、CD-RWなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

6

サウンド機能

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System に適合しています。スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、または Windows の「Volume Control」^{ボリューム}を使用します。

ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

【音量】アイコンから調整する

- 1 タスクバー上の【音量】アイコン (🔊) をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する


つまみを上に行くとスピーカの音量が上がります。[ミュート]をチェックすると、消音になります。

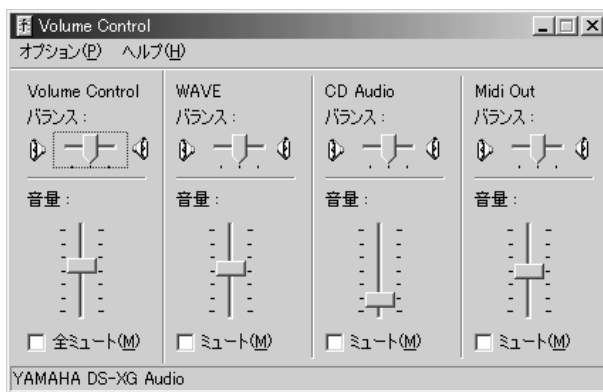
使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す

Volume Control で調整する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする、または [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする



- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

■ 音楽／音声を再生するとき

「Volume Control」の各項目では次の音量が調整できます。

Volume Control : 全体の音量を調整する

WAVE : MP3 ファイル、Wave ファイル、
音楽 CD (Windows Media Player の場合)、
DVD-ROM、DVD-Video など

CD Audio : 音楽 CD (Windows Media Player 以外の場合)


Midi Out : MIDI ファイル

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『Volume Control のヘルプ』をご覧ください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

パソコン上で録音するとき

- 1 タスクバーの [音量] アイコン () をダブルクリックする、または [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] をチェックする
[Stereo Out] [Microphone] がチェックされていることを確認します。

5 [OK] ボタンをクリックする

6 [Recording Control] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする

[Stereo Out] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽 CD などを録音するとき

[Microphone] : 外部マイクから録音するとき

7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



- 同時に 2 つのデバイスを選択することはできません。
- 録音したい音楽/音声 [Volume Control] の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音するとき

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音する場合は、あらかじめボリュームダイヤル、または [Volume Control] の [WAVE] や [Midi Out] など、各ソース用のコントロールで再生している音量を調節しておきます。



- 音量を最小にしたり、ミュート（消音）にすると、光データは出力されません。
- ボリュームダイヤルでは、本体のスピーカからの音量のみを調節できます。




参照 Volume Control について ⇨ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

3 システムスピーカについて

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。

1 [コントロールパネル] を開く

 詳細について ⇨ 「2章 7- コントロールパネルの開きかた」

2 [東芝HWセットアップ] アイコン () をダブルクリックする

3 [Hardware Alarm] タブで設定する

鳴らす場合は [System Beep] をチェックします ()。
音量は [Alarm Volume] のスライダーバーをドラッグして調整します。

7


フロッピーディスク

1 フロッピーディスク

フロッピーディスクとは、3.5 インチの薄い円盤にデータを記憶する媒体です。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。



パソコンのデータをフロッピーディスクに書き込み、フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスクドライブ」または「フロッピーディスク装置」といいます。


 フロッピーディスクの取り扱いについて
⇒「7章 1-フロッピーディスク」


使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。

フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.2MB
2HDタイプ	1.44MB

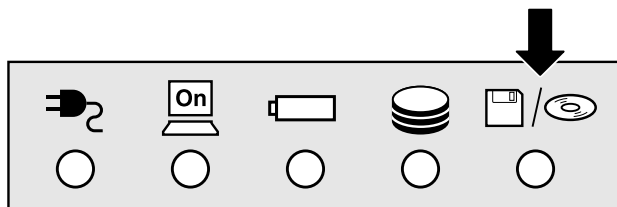
1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

 フォーマットについて ⇒「本節 3-フォーマット」

-  ● Windows 用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。
- 1.2MBの容量にフォーマットすることはできません。1.2MBのフロッピーディスクへは、読み出しと書き込みができます。

フロッピーディスクドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。



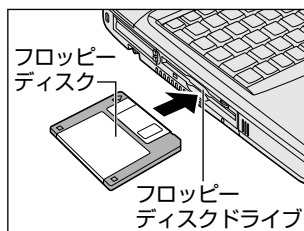
2 フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。


フロッピーディスクのセット

1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きにあわせて挿入する

「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。

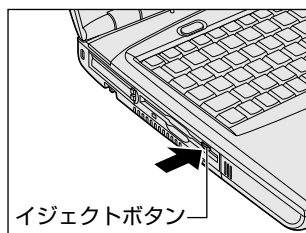


注意


- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LEDが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。

フロッピーディスクの取り出し

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



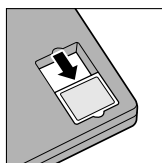
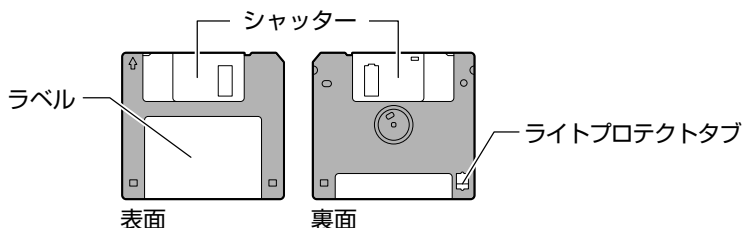
フロッピーディスクの内容を見る

- 1 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
[マイ コンピュータ] 画面が開きます。
- 2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をダブルクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3 フロッピーディスクを使う前に

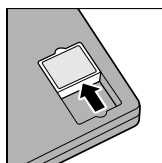
ライトプロテクトタブ

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

フォーマット

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム（OS）にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行ってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

フォーマットには、「クイックフォーマット」と「通常のフォーマット」という方法があります。

【クイックフォーマット】

以前にフォーマットしたことのあるフロッピーディスクに実行できます。クイックフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されますが、基本情報の書き込みなどは行われません。フロッピーディスクが壊れているおそれのある場合は、クイックフォーマットは行わないでください。

【通常のフォーマット】

すべてのファイルが消去され、基本情報を書き込まれます。ディスクの損傷があるかどうかもチェックされます。

■ フォーマット方法


Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、Windows の『ヘルプとサポート』をご覧ください。



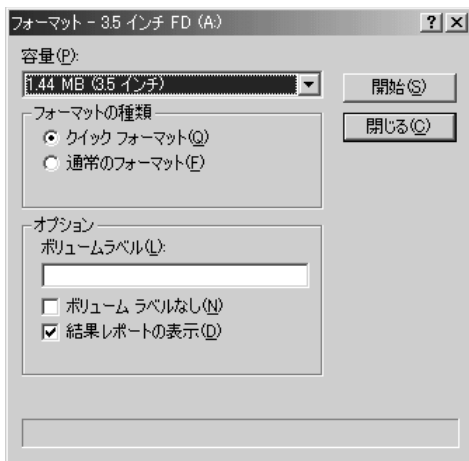
- フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。



- 他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
 - 2HD フロッピーディスクを 2DD タイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
 - フォーマット形式は、2DD の場合は 720KB、2HD の場合は 1.44MB のみになります。

- 1 フロッピーディスクドライブに、フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] が選択され、アイコンの色が反転します。

- 4 [マイコンピュータ] 画面で [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



- 5 フォーマット方法を選択し、[開始] ボタンをクリックする
フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。
- 6 [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする
これで、フォーマットは完了です。
他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。
フォーマットを終了する場合は、[フォーマット] 画面で [閉じる] ボタンをクリックします。


8

CD / DVD



本製品にはマルチドライブが内蔵されています。マルチドライブはCD-R/RWドライブとDVD-ROMドライブ両方の機能を持ちます。

本製品のマニュアル『安心してお使いいただくために』に、CD / DVDをお使いになるときに守っていただきたいことが記述されています。

CD / DVDをお使いになる場合は、あらかじめその記述を良くお読みになり、必ず指示をお守りください。

 『安心してお使いいただくために CD / DVD の取り扱いについて』

⚠ 注意

- ・ FDD/CD-ROM  /  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD / DVD を取り出す操作をしないでください。CD / DVD が傷ついたり、マルチドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD / DVD のデータやマルチドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ マルチドライブのトレイを開けたときに、CD / DVD が回転している場合には、停止するまでCD / DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- ・ マルチドライブは開けたままにしないでください。ケガのおそれやマルチドライブの故障の原因となります。

 **お願い**

- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。また、市販のクリーナを使用しないでください。マルチドライブの故障の原因になります。
- マルチドライブに保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

 **参照**

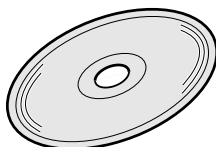
イジェクトホールについて

☞ 「本節 2- ディスクトレイが出てこない場合」

1 CD/DVD

使用できる CD

直径 8cm、12cm の円盤にデータを記憶する媒体です。



読み込みできる CD は、次の種類です。

- ① 音楽用 CD
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- ② フォト CD
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録しています。
- ③ CD-ROM
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使
用できます。
- ④ CD エクストラ
記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生
装置でそれぞれ再生します。
- ⑤ CD-R
- ⑥ CD-RW

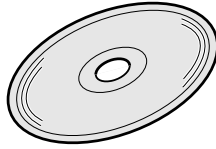
書き込みできる CD は次の種類です。

- ① CD-RW
- ② CD-R
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はでき
ません。

CD-RW メディアに書き込む際には、1 / 2 / 4 倍速対応（マルチス
ピード）CD-RW メディアをご使用ください。

使用できる DVD

直径 12cm の円盤に、4.7GB（一層）または 8.5GB（二層）のデータを記憶できます。



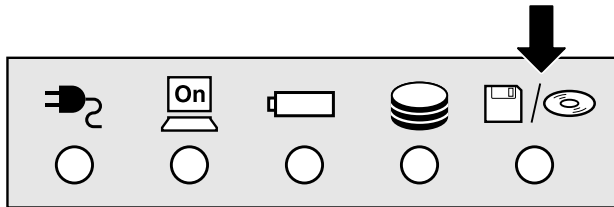
読み込みできる DVD は、次の種類です。

- ① DVD-ROM
- ② DVD-Video
映像再生用です。

- お願い**
- DVD-Video 再生時は、AC アダプタを接続した状態でご使用になることをおすすめします。
また、使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。

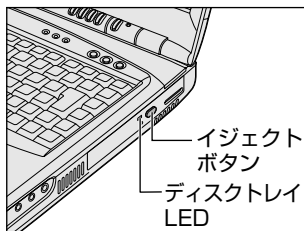
マルチドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、マルチドライブが動作しているときは、FDD/CD-ROM  /  LED が点灯します。





2 CD / DVDのセットと取り出し

CD / DVDは、電源が入っているときにセット / 取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- FDD/CD-ROM  /  LED が点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。



- パソコン本体を持ち運ぶときは、マルチドライブに CD / DVD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

CD / DVD のセット

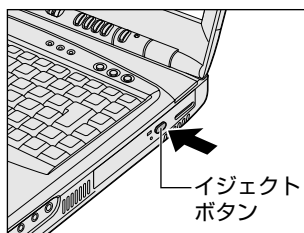
CD / DVD をセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、メディア切替スイッチを左側へスライドします。

2 イジェクトボタンを押す

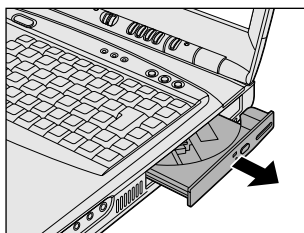
イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



●電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

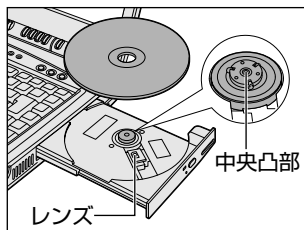
3 ディスクトレイを引き出す

CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

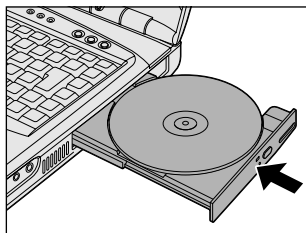


4 文字が書いてある面を上にして、CD / DVD の穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



お願い

- CD / DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD / DVD を正しくディスクトレイにセットしないと CD / DVD を傷つけることがあります。

メモ

- 傷ついたり汚れのひどい CD / DVD の場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- CD / DVD の特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

CD / DVD の取り出し

1 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れずに使用する場合、メディア切替スイッチを左側へスライドします。

2 イジェクトボタンを押す

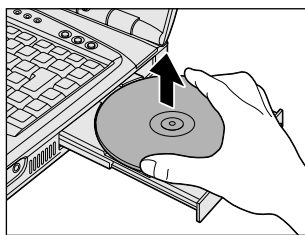
ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

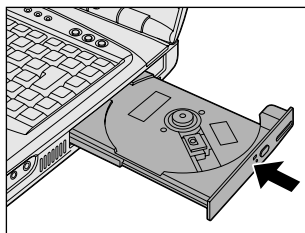
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD / DVD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

CD / DVD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

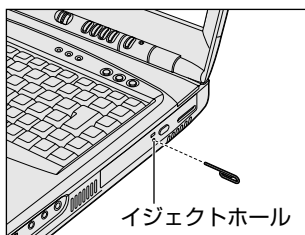


5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



■ ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、マルチドライブのイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



- 電源を入れ、マルチドライブのディスクトレイLEDが点滅しなくなったことを確認してから、マルチドライブのイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

9

内蔵モデム

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。


アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

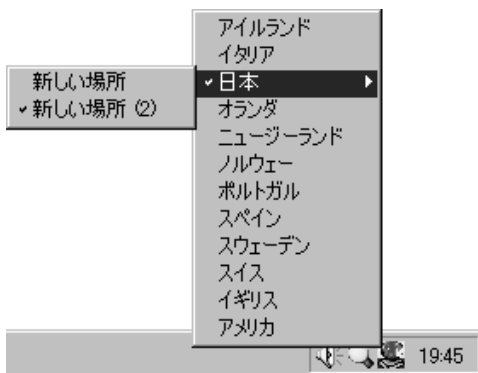
(2001年8月現在)

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。

- 1 [スタート] → [プログラム] → [Toshiba Internal Modem] → [Region Select Utility] をクリックする
[Internal Modem Region Select Utility] アイコン () がタスクバーに表示されます。




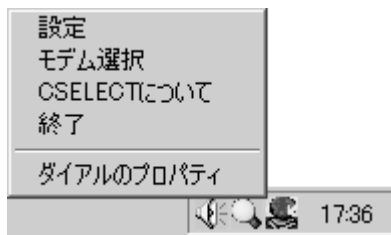
- 2 タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン () をクリックする
内蔵モデムがサポートする地域のリストが表示され、地域名のサブメニューとしてテレフォニーの所在地情報名が表示されます。現在設定されている地域設定と、所在地情報名にチェックマークがつきます。



- 3** 使用する地域名または所在地情報名を選択し、クリックする地域名を選択した場合、モデムの地域設定を行なった後、新しく所在地情報が作成されます。
この場合、現在の所在地情報は新しく作成されたものになります。所在地情報名を選択した場合、その所在地情報に設定されている地域でモデムの地域設定を行います。選択された所在地情報が現在の所在地情報になります。

その他の設定

- 1** タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから項目を選択する



■ 設定

チェックボックスをクリックすると、次の設定を変更することができます。

【自動起動モード】

システム起動時に、自動的に「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」が起動し、モデムの地域設定が行われます。

【地域選択後に自動的にダイヤルのプロパティを表示する】

地域選択後、[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

【場所設定による地域選択】

[ダイヤルのプロパティ] の所在地情報名が地域名のサブメニューに表示され、所在地情報名から地域選択ができるようになります。

【モデムとテレフォニーの現在の場所設定の地域コードとが違っている場合にダイアログを表示】

モデムの地域設定と、[ダイヤルのプロパティ] の現在の場所設定の地域コードが違っている場合に、注意の画面を表示します。

■ モデム選択

COM ポート番号を選択する画面が表示されます。内蔵モデムを使用する場合、通常は自動的に設定されますので、変更の必要はありません。

■ ダイヤルのプロパティ

[ダイヤルのプロパティ] 画面を表示します。

10

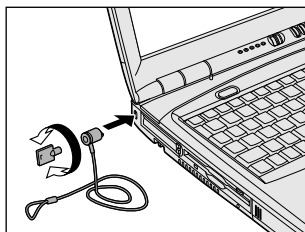
セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。

お願い

- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを販売店にご確認ください。

1 セキュリティロック・スロットにセキュリティロック用の機器（別売り）を接続する



メモ

- PC カードロックを有効にした後セキュリティロックをすると、PC カードの取り付け／取りはずしはできなくなります。PC カードの取り付け／取りはずしを行う場合は、セキュリティロック→PC カードロックの順に解除してください。

7章 日常の取り扱いとお手入れ

1	日常の取り扱いとお手入れ.....	212
---	-------------------	-----

1

日常の取り扱いとお手入れ

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を強くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはほこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を堅くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

■ 画面のお手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。

水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

■ サイドライト用 FL 管について

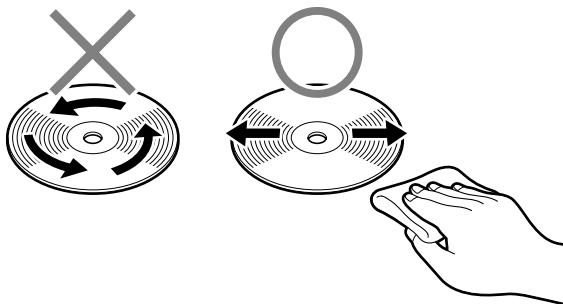
液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用 FL 管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

CD / DVD

CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面に触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかつたり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

アキュポイントⅡ（ポインティング装置）

アキュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにポイントが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

■ キャップの取り換え

予備として2個のアキュポイントキャップが同梱されています。長期間使用し、すり切れたら取り換えてください。取り換え方法は次のとおりです。

スペアのアキュポイントキャップをお買い求めになる場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

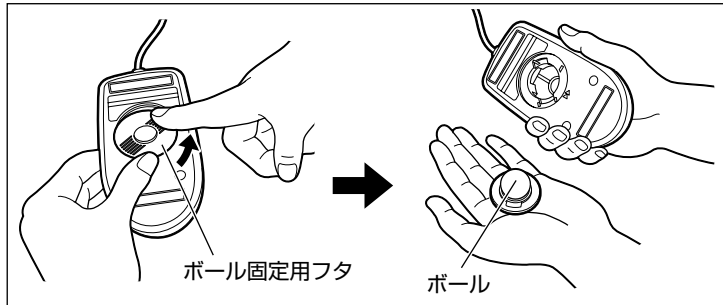
- 1 アキュポイントキャップをしっかりとつまんで垂直に引き上げる
- 2 新しいアキュポイントキャップを切り込みにあわせてアキュポイントⅡにはめる

マウス

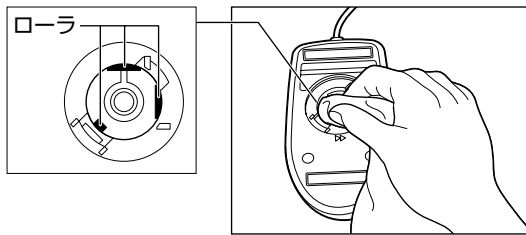
マウスを長期間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

- ①パソコン本体の電源を切ってください。

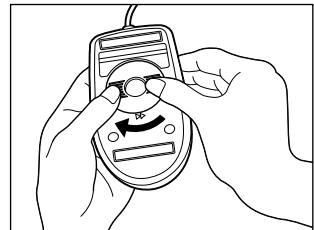
- ②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、▶▶ 方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



- ③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



- ④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。
 ⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。
 ⑥ボール固定用のフタを、▶▶ 方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



- ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

データのバックアップについて


重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどにコピーしておくことです。本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、Disk  LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CD / DVDがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PA2487U1）と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
- アクュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。

国外で製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

■ ACアダプタの仕様

入力	AC100V～240V、0.75～0.35A、50/60Hz
出力	15V、4A

さくいん

(A)

ACアダプタの仕様 219
Alt キー 52, 53

(B)

BackSpace キー 53
Break キー 53

(C)

CapsLock 英数キー 52
CD 200
CD のセット 203
CD の取り扱い 214
CD の取り出し 204
Ctrl キー 52, 53

(D)

Del キー 53
DVD 201
DVD のセット 203
DVD の取り扱い 214
DVD の取り出し 204

(E)

End キー 53
Enter キー 53
Esc キー 52

(F)

Fn キー 52

(H)

Home キー 53

(I)

i.LINK コネクタ 182
IEEE1394 コネクタ 182
IME ツールバー 21
Ins キー 53
Internet Explorer 82
Internet Explorer 画面 82

(L)

LAN コネクタ 182

(O)

OS 176
Outlook Express 112
Outlook Express 画面 118
Outlook Express を
起動する 112
Outlook Express を
終了する 154

(P)

Pause キー 53
PC カードスロット 181
PgDn キー 53
PgUp キー 53
PostPet 155
PrtSc キー 53
PRT コネクタ 182

(R)

RGB コネクタ 182

(S)

Shift キー 52, 53

Space キー 52

SysRq キー 53

(T)

Tab キー 52

(U)

USB コネクタ 182

(W)

Win キー 52

(ア)

アイコン 20

アキュポイントⅡ 10, 178

アキュポイントⅡの取り扱い 216

アキュポイントキャップの

取り換え 216

アドレス帳 137

アドレス帳を修正する 140

アドレス帳を使って宛先を

入力する 142

アドレスバー 22

アドレスを登録する 137

アプリケーション 177

アプリケーションキー 53

アプリケーションボタン 179

(イ)

インターネットボタン 179

(ウ)

ウィンドウの大きさを変える 24

ウィンドウの説明 22

ウィンドウを移動する 26

ウィンドウを最大化する 30

ウィンドウを閉じる 31

ウィンドウを開く 22

(エ)

英数字を入力する 67

液晶ディスプレイの取り扱い 213

(オ)

オーディオプレイボタン 179

オーバーレイキー 53

[お気に入り] から

 ホームページを表示する 89

[お気に入り] を整理する 90

オペレーティングシステム 176

音楽／音声の録音レベルを

 調整する 189

(カ)

カタカナ／ひらがなキー 53

カタカナを入力する 64

かな入力 58

漢字を入力する 63

(キ)

キーシフトインジケータ	179
キーボード	52, 178
キーボードの取り扱い	213
記号を入力する	65
起動したときに表示する ホームページを変更する	92
逆送りボタン	180

(ク)

クイック起動ボタン	20
クリックする (コントロールボタン)	11
クリックする (マウス)	16

(ケ)

言語を切り替える	153
----------------	-----

コ

ごみ箱	20, 41
ごみ箱に入れたファイルを 元に戻す	45
コントロールパネル	47
コントロールパネルの画面	49
コントロールパネルの閉じかた ...	50
コントロールパネルの開きかた ...	47
コントロールボタン	10, 178

(サ)

[最小化] ボタン	23
再生／一時停止ボタン	180
[最大化] ボタン	23
サウンド機能	187
先送りボタン	180
サブウーハー	181

(シ)

システムインジケータ ...	179, 183
システムスピーカ	191
仕様について	219
消耗品について	219
署名を入れる	146
新着メールチェック機能	158
新着メールチェック機能を 再開する	173
新着メールチェックの スケジュールを設定する ...	160
新着メールチェックの 設定をする	159
新着メールチェックの 接続環境を設定する	162
新着メールを確認する	170

(ス)

スクロールする	27
スクロールバー	23
スクロールボタン	178
スクロールボタンを使う	29
[スタート] ボタン	20
ステータスバー	22
スピーカ	178
スピーカの音量を調整する	187

(セ)

セキュリティロック	209
セキュリティロック ・スロット	178

(ソ)

増設メモリスロット	182
ソフトウェア	176

(タ)

タイトルバー	22
タスクバー	21
ダブルクリックする (コントロールボタン)	12
ダブルクリックする (マウス)	17

(ツ)

ツールバー	22
通風孔	180

(テ)

データのバックアップについて	218
停止ボタン	180
ディスプレイ	178, 184
ディスプレイ開閉ラッチ	178
テキスト文書	37
デスクトップ	20
電源コードの取り扱い	213
電源コネクタ	180
電源スイッチ	178
電子メール	110

(ト)

ドラッグアンドドロップする (コントロールボタン)	13
ドラッグアンドドロップする (マウス)	18

(ナ)

内蔵モデム	206
-------------	-----

(ニ)

入力するキーがわからないとき ...	71
入力に関する制御キー	68

(ハ)

ハードウェア	176
ハードディスクドライブ	185
ハードディスクドライブに 関する表示	185
バスブーストボタン	179
パソコン上で録音する	189
パソコン本体の取り扱い	212
パソコンを持ち運ぶとき	218
バッテリーパック	181
半/全キー	52, 57

(ヒ)

光デジタルオーディオ出力端子	182
ビデオ出力端子	182
ひらがなを入力する	62

(フ)

ファイルの名前を変更する	38
ファイルをコピーする	39
ファイルを削除する	41
ファイルを作る	35
ファンクションキー	52
フォルダの名前を変更する	38
フォルダをコピーする	39
フォルダを削除する	41
フォルダを作る	33

プログラムファイルを ダウンロードする	106
フロッピーディスク	192
フロッピーディスクドライブ ...	178
フロッピーディスクドライブに 関する表示	193
フロッピーディスクドライブの 取り扱い	214
フロッピーディスクのセット ...	193
フロッピーディスクの 取り扱い	215
フロッピーディスクの 取り出し	194
フロッピーディスクの フォーマット	196
文書を保存する	77

(へ)

ヘッドホン出力端子	182
ヘルプの起動	76
変換キー	53
変換の区切りを変える	70

(ホ)

ホームページに接続する	105
ホームページの画像を壁紙に 設定する	99
ホームページの画像を保存する ...	97
ホームページをお気に入りに 登録する	86
ホームページを検索する	84
ホームページを保存する	94
ポインタを動かす (アキュポイントⅡ)	11
ポインタを動かす (マウス)	16

ポインティング装置の 取り扱い	216
ボリュームダイヤル	180
ボリュームダイヤルで調整する	187

(マ)

マイ コンピュータ	20
マイ ドキュメント	20
マイク入力端子	182
マウス	14
マウスの使いかた	15
マウスの取り扱い	216
マウスのホイール	29
マウスの持ちかた	15
マウスをうまく動かすには	18
マルチドライブ	180
マルチドライブに関する表示 ...	201

(ミ)

右クリックする (コントロールボタン)	12
右クリックする (マウス)	17

(ム)

無変換キー	52
-------------	----

(メ)

メールサーバ	111
メール着信ランプ	158, 179
メールで使える文字	146
メールに添付された ファイルを開く	151
メールにファイルを添付する ...	149
メールのしくみ	111
メールボタン	179

メールを検索する	144
メールを削除する	132
メールを作成する	120
メールを受信する	124
メールを整理する	134
メールを送信する	124
メールを転送する	130
メールを返信する	128
メールを見る	126
メディア切替スイッチ ...	179, 180
メニューバー	22
メモ帳を開く	55

(モ)

文字キー	54
モジュラージャック	180
文字を削除する	69
文字を入力する	56

(ヤ)

矢印キー	53
------------	----

(ヨ)

読みかたがわからない文字を 入力する	72
-----------------------------	----

(ラ)

ライトプロテクトタブ	195
------------------	-----

(リ)

リセットスイッチ	178
----------------	-----

(ロ)

ローマ字入力	58
--------------	----

